

○衆議院 第二回 議事速記録第十五號

明治二十四年十二月十六日(水曜日)午後一時二十分開議

議事日程 第十五號 明治二十四年十二月十六日
午後一時開議

第一 租稅特別處分法案(政府提出緊急事件) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第三 明治七年以後ノ戰役ニ死歿シタル軍人軍屬ノ遺父母及祖父母扶助ニ關スル法律案(政府提出貴族院送付) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第五 農會法案(政府提出) 第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第七 條約改正ニ關スル建議案(前田案山子君外二名提出) 秘密會議

第八 郡制改正法律案(森東一郎君提出) 第一讀會

第九 治水ニ關スル建議案(湯本義憲君外七名提出) 第二讀會

第十 市制追加法律案(風間信吉君外四名提出) 第二讀會

第十一 商法及商法施行條例ノ一部施行ニ關スル法律案(渡邊カニ郎君提出) 第二讀會

第十二 北海道議會法律案(高津仲次郎君提出) 第一讀會

第十三 地方稅規則ヲ北海道ニ施行スルノ法律案(高津仲次郎君提出) 第一讀會

第十四 田畑地價特別修正法案(天春文衛君外二名提出) 第一讀會ノ續

○議長(中島信行君) 諸君ニ報道シマス、書記官長ヲシテ朗讀セシメマス

(會禰書記官長朗讀)

一 內務省土木局長工學博士古市公威君ハ、內務省所管事務政府委員仰付ラレタル旨松方內閣總理大臣ヨリ通牒アリタリ

一 末廣重泰君、綾井武夫君ヨリ條約書ノ解釋ニ付、美濃部貞亮君、堀部勝四郎君ヨリ名古屋市所在鐵道應用地ノ件ニ付、竹井懿貞君、金尾稜嚴君、佐々田懋君ヨリ北海道幌內及郁春別鐵道拂下處分ニ關シ政府ヘ質問書ヲ提出セラレタリ

一 金尾稜嚴君ヨリ國防會議ニ關スル上奏案ヲ吉岡倭文督君ヨリ島根縣隱岐國西郷港ヘ同縣出雲國三保關ヨリ海底電線架設ニ付、建議案ヲ阿部興人君ヨリ官有財產管理法案ヲ提出セラレタリ

衆議院議事速記録第十五號 明治二十四年十二月十六日 議長ノ報告

條約書ノ解釋ニ就キ質問

是マデ政府ハ酒類烟草等內國ノ製造品ニ向ツテ種々ノ稅ヲ課スルモ其外國ヨリ輸入スル者ニ至ッテハ關稅目録ニ照ラシ誠ニ僅少ノ輸入稅ヲ拂ハシムルニ過ギザルヲ以テ內國ノ製造家及販賣者ハ之レガ爲メニ非常ノ困難ヲ蒙レリ右ハ各國ト訂結セシ條約書ノ制裁ヲ受クルニ出ズルト云フ者アレドモ一部ノ條約彙纂ヲ調査スルニ決シテ內國ニ於テ已ニ輸入シタル物品ニ課稅スルコトヲ禁止スル明文アルナシ固ヨリ條約書中ニ疑似ノ條ナキニ非ス其ノ文意ノ明白ナラザルヲ以テ解釋上ニ困難ヲ生ズルニ至レリ今維新條約結シ條款ノ周備シテ文章ノ稍ヤ明晰ナル澳地利洪噶利國修好通商航海條約ヲ案スルニ其第十二條ニ

澳地利及洪噶利の人民日本開港場内へ輸入し此條約未定めたる商稅納濟の諸貨物の日本人又ハ澳地利及洪噶利人ハ拘はらず又其荷主より日本國の諸部へ輸送せしめ得べし勿論之ハ租稅或ハ運送の運上等何等の稅を拂ふ事なかるべし

トアリ右ハ輸入稅ヲ拂ヒシ者ハ如何ナル名目ヲ以テスルヲ論セズ通過稅即チ英語ノ「トランシット、ゲユチ」ノ如キ性質ノモノヲ賦課スルコトナクシテ孰レノ土地ヘモ運送スルコトヲ得ト云フ主意ナルガ如シ同條約ニ於テ雙方ノ文意相違スルコトアラバ其原文トシテ見ルベキコトヲ記スル英文ヲ調査スルニ愈、此ノ解釋ヲ明白ニスルモノ、如シ然ラハ我國ニ於テ必要ト見做セバ酒類烟草砂糖ヲ始メ輸入品ニ向ッテ內國品ト同様ノ諸稅ヲ賦課スルモ敢テ差支ヘ無キモノト思惟ス政府ハ之ニ就テ如何ナル意見ヲ有スルカ立法上ニ重大ノ關係アルヲ以テ至急答辯アラント望ム

發議者

末廣重泰 綾井武夫

○植木枝盛君(百番) 一寸御注意致シマスガ、悉ク朗讀ニナラスデモ、朗讀シタモノトシテ速記録ニ掲ケテ宜シト思ヒマス

○議長(中島信行君) 朗讀セヌデモ宜シト云フコトデアリマスカラ、朗讀シマセヌ

○植木枝盛君(百番) 併シ速記録ニ掲ゲルト云フコトハ必要デアリマスカラ、夫ハ申シテ置キマス

○議長(中島信行君) 異議ガナクバ其通ニ致シマス

(會禰書記官長朗讀ヲ繼續ス)

贊成者

湯本憲

古莊嘉門

村山龍平

佐竹義和

前田案山子

鶴飼郁次郎

渡邊又三郎

依田佐二平

安部井磐根

小野隆助

箕輪鼎

朝倉親爲

元田肇 天野若圓 濱岡光哲
五十嵐力助 増田繁幸 佐藤昌藏
熱海孫十郎 十文字信介 山口千代作
三浦信六 佐藤忠望 佐々木善右衛門
岡田良一郎 八田謹二郎 小崎義明
堀部勝四郎 石坂專之介 佐々友房

質問書

一愛知縣名古屋市所在停車場ニ連續スル鐵道廳用地五萬三千三百八十五坪六
合六勺ハ現今不用地トシテ舊所有者ニ拂下ク可シトノ說アリ其實如何
二鐵道廳ガ右地所買上ノ年月及ヒ之ニ對シ代金ヲ下渡シタル年月日如何
三若シ不用地トスレバ買上ノ當初之ヲ必要トシタル理由及ヒ今之ヲ不要ト
認ムル理由如何
四該不用地ハ會計法第二十四條ニ依ラズシテ舊地主ニ拂下ル理由如何
右議院法第四十八條ニ從ヒ政府ニ質問致度提出仕候也
明治二十四年十二月十五日

千葉禎太郎 青樹英二 堀部勝四郎 角田眞平
金尾稜嚴 加藤六藏 梶田喜左衛門
坂田三郎兵衛 西村甚右衛門 家永芳藏
依田中正造 大東義之助 古屋專美
三宅正平 高瀬藤次郎 菅山了法
山瀬幸人 小地九郎 室孝次郎
松野新九郎 鈴木昌雄 津武太夫
渡邊又三郎 井上角五郎 早川龍介

北海道幌內及郁春別鐵道拂下處分ニ關スル質問主意書

明治二十二年二月鹿兒島縣士族北有社々長村田堤神奈川縣平民同社副社長
田中平八ヨリ北海道幌內及郁春別鐵道拂下ノ義ヲ出願シ其拂下代價ハ相當
年賦三十萬圓トセシコトヲ上申セリ當時北海道廳ハ之ヲ低廉ニ失スルモ
トナシ該鐵道財產ノ總價格百十六萬二千五百圓ノ半額即チ五十八萬二千二
百五十圓ヲ以テ拂下ノ標準トナシ詮議ニ及ブ可ク而シテ小樽鐵道間之鐵道凡
ソ十一哩間ハ元來公道ニ鐵道ヲ布設セシモノナルカ故之ヲ拂下クルトキハ
之ガ代リトシテ更ニ公道ニ鐵道ヲ布設セシモノナルカ故之ヲ拂下クルトキハ
可シトノ條件ヲ附シ且ツ鐵道會社ノ創立ヲ併セテ出願ス可シトノ內諭ヲ
傳ヘ遂ニ同年三月十二日付ヲ以テ北海道廳ハ願ノ趣ハ私設鐵道條例ニ準シ
發起人五名以上結合シ鐵道會社ヲ創立シテ更ニ出願ス可キ旨ノ指令ヲ與
ヘタリ是ニ依リ右ノ內諭並ニ指令ニ基キ同年四月九日付ヲ以テ村田堤田中
平八北村英一郎植杉實二山上滿常鈴木保外四名連署シ該鐵道拂下及ヒ北海
道鐵道會社創立ノ義ヲ再ビ出願ニ及ビシ處同年五月三十日付ヲ以テ鐵道拂
下願ハ詮議ノ次第有之聞居ケ難シト指令アリタリ然ルニ其後北海道廳非職
理事官堀基外十二名ヨリ北海道炭礦鐵道會社創立及ビ該鐵道ヲ十箇年賦二
十四萬七千九百九十五圓ヲ以テ拂下ノ義ヲ出願セシニ遂ニ之ヲ許可スルニ

至レリ抑モ先キニ五十八萬二千二百五十圓ノ外公道布設費五萬圓ヲ負擔シ合
計六十三萬二千二百圓餘ノ多額ヲ以テ拂下ヲ乞ヒシ者ニ對シ其拂下ヲ許可セ
ズシテ後チニ二十四萬七千九百九十五圓ノ低額ヲ以テ拂下ヲ出願セシ者ニ
其拂下ヲ許可シタルノ理由如何
右議院法第四十八條ニ依リ質問ス
明治二十四年十二月十六日

提出者

贊成者 竹井懿貞 金尾稜嚴 佐々田懋
田邊有榮 青山庄兵衛 高津仲次郎
菅了法 西尾傳藏 眞中忠直
新井東一 堀部勝四郎 今井磯一郎
森東一 堀部勝四郎 近藤準平
田中正造 堀部勝四郎 堀部勝四郎
伊東祐實 堀部勝四郎 堀部勝四郎
山田泰造 堀部勝四郎 堀部勝四郎
增田繁幸 堀部勝四郎 堀部勝四郎
山口左七郎 堀部勝四郎 堀部勝四郎
水暮武太夫 堀部勝四郎 堀部勝四郎

一海關稅法案審查特別委員長ニ河野廣中君、同理事ニ關直彦君當選セラレ
タリ
○議長(中島信行君) 板倉胤臣君ヨリ病氣ニ付二週間ノ請暇ヲ願ヒ出マシ
タ、異議ガナクバ……
(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)
○議長(中島信行君) 請願委員長ヨリ今日報告スルコトガアリマス、江原素
六君
(江原素六君演壇ニ登ル)

○江原素六君(百一十八番) 前週ニ於キマシテ請願委員ノ許ヘ受ケマシタ件
數ガ百五十九通デゴザリマス、其內菓子稅則廢止ノ請願ガ十五件、菓子稅則
改正ノ件ガ三件デゴザリマス、酒造稅則改正ノ請願ガ十二件、自家用料酒鑑札
料廢止ノ請願ガ二件、實業規則改正ノ請願ガ十二件、實業規則改正ノ請願ガ
請願ガ十件、府縣管轄區域修正ノ請願ガ一件、北海道千島國ニ冬期航海及電信
架設ノ請願ガ一件、國庫金下付ノ請願、是ハ明治二十四年度ノ剩餘金ヲ各町村
ノ基本財産ニ下付ヲ請フト云フ主意デゴザリマス、是ガ委員會ニ於テ院議
ニ付スベキモノト決定シマシタ、其外舊油稅減額ノ請願二件、神祇官再興ノ
請願一件、船車稅廢止ノ請願一件、質屋取締條例中十五條ヲ削除スルコト云
フ請願一件、船車稅廢止ノ請願一件、此十五條ノ廢止ハ營業ヲ差止メラレ
ハ、甚ダ苛酷デアルカラ、夫ヲヨシテ實ヒタイト云フノデアリマス、ケレド

モ尙ホ讀シテ見マスレバ——規則ノ全部ヲ讀シテ見マスレバ、盜賊ニ逢ッタ者ハ居ケテ出テ居リマス、其居ノ品觸ガアルノデ、其品觸ヲ居ケテアルカラ、當然デアリマスケレドモ、前ノ所云ハナイデ二度居ケナケレバ、營業ヲ停メルト云フコトハ甚ダ酷デアリニ依テ、其規則ヲ削リタイト云フコトデアリマスカラ、右述ベマシタコトハ即チ神祇官再興、船稅廢止、質屋取締條例中削除ノ件ト云フコトヲ委員會ニ於テ院議ニ付スベカラサルモノト決定シマシテゴザイマス、夫カラ法律第三號ノ十二條即チ神官僧侶ニ衆議院議員ノ選舉權ヲ與ヘタイト云フ請願デアリマス、是モ委員會ニ於テハ院議ニ付スベカラザルモノト決定シマシテゴザイマス、其外ニ地價特別修正ノ請願、地租輕減ノ請願、郡分合等ニ關スル請願等ガ澤山ゴザイマス、是等ハ既ニ議員諸君ヨリ提出ニナツテ居リ、或ハ政府ヨリ下付ニナツテ居ル議案デアリマス、故ニ其方ヲ特別委員ノ方ノ參考トシテ渡スト云フコトニ、委員會ハ決シマシテゴザイマス、夫カラ米國博覽會ニ關スル請願ガ一通出テ居リマス、是ハ既ニ本院ニ於テ可決シタモノデアリマス、別段ニ議スルコトハ要シマセスト決定致シマシタ、其外ニ特別輸出港新設ノ請願、河川改修ニ關スル請願、岐阜縣免稅等ノ請願等ガ出テ居リマス、是ハ此前ノ土曜日ノ總會ニ於テ之ヲ議決スルコトガ出來マセヌ故ニ、此過ノ土曜日ニ於テ更ニ總會ヲ開イタ上、可否ヲ報道スル積デアリマス、是マデ……

○議長(中島信行君) 本日ノ議事日程ノ會ヲ開キマス

租稅特別處分法案(政府提出) 第一讀會

(齋藤書記官朗讀)

地震洪水其他抗拒スヘカラサル災害ニ依リ非常ノ損害ヲ受ケタル地方ニ對シ其土地ノ收利又ハ人民ノ生産ヲ回復セシムル爲ニ特別ノ處分ヲ要スルキハ行政命令ヲ以テ期限ヲ定メ免稅減稅又ハ延納ノ處分ヲ行フコトヲ得

(政府委員大藏次官渡邊國武君演壇ニ登ル)

○政府委員(渡邊國武君) 租稅特別處分法案ノ提出ノ理由ハ既ニ添付シテアリマス、理由書ニ綱領ヲ悉シテアリマス、尙ホ一應政府ノ趣旨ヲ辯明致シマス、法律ト云フモノハ何分人事上ノアラユル場合ヲ皆網羅シテ決定スルコトノ出來ヌコトハ申スマデモアリマス、故サラ我國ハ此震災災害等ハ他國ニ比シテ往々非常ナコトガ起ツテ來ルコトハ少カラヌコトデアリマス、何分各種ノ稅法ニ附イテ居リマス、所ノ減稅免稅ノ法ノミデハ、此非常ノ時ニ應ズルコトハ出來マセヌ、即チ此度ノ震災ノ如キニ當ツテハ、何分通常ノ方法ヲ以テ是ニ應ゼントスレバ、實際ニ反スルコトガ少カラヌ様ニナリマスカラ、是非トモ是ハ或ル取除ノ場合ヲ規定シテ置クコトガ必要デアルト云フ所カラ、此特別處分法案ヲ提出シタルデアリマス、既ニ御承知ノ通震災地ノ人民ハ何分……ノ有様デアリマセウ、速ニ御協賛ヲ經テ、直ニ實行シテ、人心ヲ安堵ニ赴カシムルコトガ最モ必要デアラウト存ジマス、政府ハ何卒速ニ協賛アラント切望致シマス

(安田愉逸君演壇ニ登ル)

○安田愉逸君(二百三十番) 少シ質問ヲ願ヒマス——質問ノ御答ヲ願ヒマス、此政府ノ御提出ノ案ニ依リマスレバ、行政官ノ適當處分ヲ許スノ箇條ガナイカラ、其箇條ガナクテモ隨分處分ガ出來ル様ニシタイト云フ提出案ノ趣意デアリマスガ、適當處分ノ條項ガナクシテ是マデ濟マシ來ツタト云フモ

ノハ、是マデモ隨分度々地震或ハ洪水其他抗拒スベカラザル災害ニ依リマシテ、損害ヲ受ケタル地方モアツタモノデアラウト考ヘマス、夫ニ今マデハ斯ウ云フ事ガ必要デナカッタト云フモノハ、畢竟立法議會ヲ開カル、前マデハ、政府ノ仕事ト云フモノハ頗ル專斷デアツテ、別ニ條例ニモ依ラズシテ、處分ヲスルコトガ出來タル爲ニ、今マデハ租稅特別處分法案ヲ設ケル必要ハナカッタケレドモ、ナカッタト云フノデゴザイマス、若クハ明治初年ヨリ以來今回ノ震災ヲ除クト、他ニ地震洪水其他抗拒スベカラザル災害ガナカッタガラシテ、故ラニ特別處分法案ヲ設ケルノ必要ガナカッタト云フ故デゴザイマセウカ、隨分私私ノ覺エテ居ル所デハ、災害ハ今回バカリデナクシテ、是マデ屢々アツタ事デアリマス、其時ニ租稅特別處分法案ヲ設ケズシテ、獨リ今回ノ震災ニ限ツテ、政府ガ大騒ヲ致シテ、種々ノ事ヲ議會ニ要求スル即チ此案ノ如キモ行政官ノ適當處分ヲ許シ、今回震災ニ遭遇シタル人民ノ急ヲ救フノ道ヲ啓キ、併テ將來ニ向ツテ現行法ノ缺點ヲ補フツ云フヤウニ見エテ居リマス、現行法ノ缺點ヲ補フコトマデ考ヘテ居ラル、様デアアル、サウシマスルト何故ニ之ヲ非緊急問題トシテユックリ持出シナリマセヌカ、之ヲ一ツ伺ヒタイノデアリマス、夫カラモウ一ツ承リタイノハ、此理由書ニ書イテアリマス、我國ノ租稅法タル、唯地租條例其他ノ條例ニ依ツテ狹局ナル特別減免ノ方法ヲ定ムル云々ト云フコトガアリマス、特別減免ノ方法ニ依ツテ其他ノ條例ヲ改正スルコト云フ案ヲ出サレナカッタデゴザイマセウカ、事此ニ出デズシテ、殊更ニ行政官ノ適當處分ヲ許スト云フコトヲ望ムル、ト云フコトハ、是レ又何カタメニスル所ガアツテ、恰モ政府ノ人望ヲ博スルト云フ様ナ考デ御出シニナツタモノデアラウト云フ疑ヲ起スモノ、無理ナラヌコトデアアル、政府ハ何故ニ地租條例其他ノ條例ノ改正案ヲ提出シテ、現行法ノ缺點ヲ補ハヌノデゴザイマセウカ、夫ガ政府ニ質問スルノデゴザイマス

(政府委員大藏次官渡邊國武君演壇ニ登ル)

○政府委員(渡邊國武君) 唯今ノ御質疑ノ第一ノ是マデハサウ云フコトハナカッタカト云フ御問ノ様ニ聽受ケマシタガ、此度ノ様ナ震災ハ餘リナカッタ様ニ考ヘマスガ、或ハ非常ナ事ハナイコトハナカッタノデゴザイマス、併ナガラ是ハ全ク此法治國トナラナイ前ニハ、行政官ヨリシテ夫々命令ヲ下シテ、處分スルコトガ、出來マシタ、モウ今日トナリマシテハ、法律ヲ定メタルコトハ議會ノ協賛ヲ經テ、勅令ヲ以テ發スルコトヲ法律ヲ定メザル以上ハ、如何ナル場合デモスルコトガ出來マセヌカラシテ、故ニ此法律ノ必要ガ起ツタノデアリマス、第二ノ御問ハ、ナゼ此様ニ緊急トシテ出シタカト云フコトデアリマスガ、成ル程是ハ此ノ如キ事ハ將來ニ又ナキコトヲ保チマセヌカラ、將來ニ及ブコトニ致シマシタガ、差迫ツテ居ルコトハ、此度震災地ノ租稅處分ニ既ニ收稅官モ差出シテ検査モ致サセマシタ所ガ、何分通常ノ法律ヲ以テ處スルコトハ六ケシキ次第デアリマス、先ヅ此處分ヲ致シテ、唯今不幸ニ罹ツテ居ル人民ノ安堵ヲスルコトニ致シタイ譯デ、是ハ急イダノデアリマス、第三ガ——何カモウ一ツ……

(安田愉逸君(二百三十番) スウ云フ問デゴザイマス、地租條例其他ノ條例ヲ改正センガタメニ、改正案ヲナゼ御出シニナラヌノカ唯處分ヲ許シテ呉レ……猶ホ疑フ

(政府委員大藏次官渡邊國武君演壇ニ登ル)

○政府委員(渡邊國武君) 通常ノ場合ハ成ル程各種ノ精密ノ租稅法ニ於テ減稅免稅ノ法ヲ定メテ往クノガ宜イノデアリマスガ、此ノ如ク豫想スヘカラザルコトマデモ、通常ノ租稅法カラ減稅免稅ノ場合ヲ指示シテ置クコトハ、或ハ差支ガ出來マセウカラ、前現ニ申シテ通、何分法律ト云フモノハアラユル非常ノ場合マデ網羅シテ作ルコトハ出來マセウカラ、通常ノ法律ニ止メ、臨時非常ノ實ニ此度ノ震災ノ如キ場合ニハ、或ル取除ノ法ヲ以テ處分ノ出來ルコトヲ請求シタノデアリマス

○佐々田懋君(二百八十三番) 本員モ政府委員ニ質問ヲ致シマス、唯今政府委員ノ答辯ニ依ッテ見ルト、此租稅特別處分法案ト云フモノハ、主トシテ此震災地ニ應用スルト云フ考ノ様ニ聽キマシタ、併ナガラ此地震災、洪水、其他抗拒スベカラザル云々ト云フコトガアリマスカラ、獨リ震災ニ限ツタコトハナイ、其他ノ災害ニモ皆應用スルト云フコトデナレバナラヌ、夫デ若シ政府委員ノ言フガ如ク、震災許リデアルトスレバ、其事ヲ掲ゲネバナラヌ、又此文面ノ如ク、其他ノ事ニ就イテ、説明ト云フモノハ少モナイ様デアリマスガ、ドウ云フ積デアリマスガ、又モウ一ツノ問ハ、從來ハ政府ニ於テ法律命令若ハ勝手次第ニ隨分焦眉ノ急ト云フモノヲ處分致シタケレドモ、今日ノ政治上ニハ左様ナ事ハ出來ナイト、本員ガ熱、記憶致シテ居ル所デハ、此地租稅條例ヲ發布シタル後ニ當リ、隨分洪水ノタメニ田畑ノ損害ヲ受ケタ者ガアツテ、色々請願シタモノガアルケレドモ、ソノ事ハ少モ政府ハ用ヒナカッタ、地租條例ノ範圍内或ハ備荒儲蓄ノ範圍内ヲ以テ、或ハ貸與等ノ事ハシタケレドモ、斯ノ如キ特令ヲ與ヘタト云フコトハ記憶シナイ、是マデ左様ナ事ハ何レノ縣ニ致シタコトガアラウカ、又モウ一ツノ問ハ、此震災地ナリ、或ハ洪水ノタメニ損害ヲ受ケタル所ノ田畑、是ハ一地方ニ府縣會ニ於テ議定シ得ル所、備荒儲蓄貸與ノ規則ト云フモノガアル、デ此震災地ナリ、洪水地ナリハ隨分備荒儲蓄ノ方ノ範圍内ヲ以テ救済シ得ラル、道ハアルコト、思フ、然ルニ其事ガ出來ナイデ簡様ニ致シタト云フモノハ、ドウ云フ理由デアリマスガ、又モウ一ツニハ、唯漠然ト斯様ナル特令ヲ、特權ヲ政府ニ與ヘテ與レト云フコトハドウモ分ラヌ、例ヘバ事情ガ如何ナル景狀ヲ爲シテ居ル……ト云フモノデアルトカ、何レ本案ヲ、此議案ヲ提出スル以上ハ、相當ノ取調ト云フモノハ當局者ガシナケレバ出セナイコトデアアル、必ズ相當ノ調査ト云フモノハシデアアルニ違ヒナイ、殊ニ之ヲ緊急トシテ議決シテ與レト云フ請求ヲスル場合デアアルカラ、何レ斯ウ云フコト……何カ一ツ譬ナリト引イデ聽カシテ貰ハナケレバナラヌ、以上ノ件々ヲ確メタル上デ、尙ホ質問ヲ致シマス

(政府委員大藏次官渡邊國武君演壇ニ登ル)

○政府委員(渡邊國武君) 唯今佐々田君ノ第一問ハ、震災地ニノミ用フル様ニ御聽取リニナツタと思ヒマスガ、夫ハ先刻御答シタノハ、何故ニ緊急トシテ急クデアリカト云フカラ、夫ハ差向キ爰ニ震災地ニ向テ施行シナケレバナラヌト云フ必要ガアルカラト云フノデ、是ハ徹頭徹尾震災ノミニ行フト云フ旨意デハナイデアリマス、夫カラ二番目ノ、是マデハ勝手次第ノコトヲシタハドウ云フ譯デアアルカ……是ハ先刻モ申シタ通、法治國トナル以上ハ、サウ云フコトハ出來ナイ、即チ法律ト云フモノガアレバ、其法律ノ範圍内デ之ヲ處分シナケレバナラヌ、併ナガラ此明治二十四年間ハドウデアアルカト云

フト、夫ハ先ヅ法律ト云フモノハ立タヌ所デ、命令デ處分スルコトモアツカラ、二十四年間ニ於テハ決シテ夫等ノ事ハナカッタ、何レノ縣々ニドウ云フ處分ヲシタカト云フコトハ、本官唯今記憶シテ居リマス、夫カラ備荒儲蓄法ノ範圍内デ出來ハセウカラト云フ、備荒儲蓄ノ處分ハ、御承知ノ通、法律ニ依ツテ範圍ガ極ツテ居リマスガ、今度ノ此特別處分法ハ備荒儲蓄ノ範圍内ニイケナイ分ニ向ッテ處スル積リデアリマス、夫カラ實際ノ有様ヲ聽カネバ困ルト云フコトデアリマスガ、是ハ素ヨリ此法律ガ通過致シマセヌ間ハ勿論ノコト、勅令ヲ決定スルコトモ、上裁ヲ請フコトモ出來マセヌガ、大凡下組ハシデアリマス、例ヘテ申セバ、地租デアツテモ荒地ニスルニハ地形ヲ變換シナケレバ、荒地ニスルコトハ出來ヌ、然ルニ今度ハ全面陷ツテ仕舞ヒ、地形ハ變シナイガ、何分故ノ儘地租ヲ續イテ上納スルコトハ出來ナイ、或ハ又或ル市街ノ如キハ殆ド十中八九マデ焼ケテ、其宅地ト云フモノハ逆モ故ノ宅地ノ儘地租ヲ納ムルコトハ出來ナイ、故ノ形ニ復スルマデハ、幾何ノ年月ヲ經ナケレバ、故ノ形ニナラヌ、此等モドウモ地租條例ニハ處分ノ仕方ガナイカラ、左様ノモノニ向ッテ特別處分ヲスルト云フ主意ナンデス

○藤田孫平君(百九十七番) 私モ質問ガアリマス、此土地ノ修利又ハ人民ノ生産ヲ恢復スル爲メ云々ト云フコトガアリマスガ、此タメニハ如何ナル御處分ヲナサルノデゴザリマスガ、免稅減稅ト云フコトヲ爲スニハ、實地ニ當ッテ、實地ノ現況ニ依テ、免稅シ或ハ減稅セラル、モノデアリマスガ、サウデナクシテ實地ハサウ云フコトニ拘ラナイモノデモ、其他デ非常ニ災害ヲ受ケタカラシテ、是ハ如何カ特別ノ法ヲ設ケタノデアアルカ、實ハ本員等ノ考デハ、免稅減稅ノ荒地ニナツテ、實地ノ現況ニ依テ取調ベラル、コトニハ、其法ガ是マデ存シテ居ル様ニ思フ、現況ニ拘ラズ處分ヲセラル、コトカ、現況ニ依ルナレバ免稅ニナル、荒地ナレバ荒地ノ處分ガアラウ、又減稅シテヤルト云フコトモアル、種々ノ方法ガ此延納ニナル様ナ……延納ト云フコトハナンデスガ、種々ノ方法ガアル答デス、此實地ノ現況ニ拘ラス何カ特別處分ヲナサレハノカト云フコトガ第一ノ質問デス、夫カラ今日マデニ處分ヲサレタモノハサウ悉クハ解リマスマイガ、隨分澤山洪水ノタメニ隨分一村悉ク……デモナイケレドモ、過半田地ヲ流シテ困ル杯ト云フコトモ隨分澤山アラウト思フ、ソコデサウ云フ事ガ澤山アルト思ヒマスカラ、一々伺ヒタイトハ考ヘナイガ、此磐梯山ノ破裂ト云フ様ナ事ハ、隨分著シイコトデアアル、其時分ニ如何ナル御處分ヲナサレタカト云フ様ナコトハ、私ハ……或ハ十津川ハドウカト云フ様ナ著シキコトノ御調ガ、今日マデノ御調ガアレバ、御答ヲ願ヒタイ

(政府委員大藏次官渡邊國武君演壇ニ登ル)

○政府委員(渡邊國武君) 唯今藤田君ノ御質問ノ第一條ハ先刻佐々田君ニ御答シタシタ通、決シテ現況ニ拘ラズ免稅減稅ヲスル主意デハナイノデアリマス、現況ノ内デ他ノ稅法ノ規定ニ拘ラズ免稅減稅出來ル丈ハ夫デアリマスガ、前ニ申シタ通、市街ノ過半ガ焼ケテ、生産力ガ恢復シナイ間ハ故ノ宅地ノ稅ヲ拂フコトハ出來ナイ、或ハ土地ガ全面窪ンデ、併シ地形ハ變シナイ、是ハ從來地租條例デ出來マセヌ、左様ノ分ニ向ッテ此處分ヲスルノデアリマス、決シテ何モ關係ノナイ所ニ恩惠ヲ施スト云フノデアリナシ、左様御承知ヲ、夫カラ佐々田君ノ御問ト同様ニ、是マデ處分シタ所ヲ承リタイト云フコトデアリマスガ、成ル程夫ハ一二已ムヲ得ナイ事モアリマシタラウト考ヘマスガ、地

形が變シマスレバ、モウ是ハ、其地形ノ變シタ所ハ荒地ノ處分ガ出來マシタガ、此度ノ様ニ非常ノ天災ガアツテ、或ハ地盤ノ全面ガ窪ミダトカ、或ハ持上ツタトカ、水源ガ絶タレテ一向地味ガ變シタトカ、斯ウ云フ天災ハ左様ニ澤山アリマセヌノデアリマス、其箇所ガ御入用デアリマスナラバ、是ハ何レ委員ニ付セラレマセウカラ、何レ調ベテ上ゲマスガ、今日ハ本官ハ記憶シテ居リマセヌ

○藤田孫平君(百九十七番) 今ノ續キヲモウ一ツ伺ヒタイ、唯今ノ御説明デハ、私ハ了解スルコトガ出來ナイト云フノハ、荒地ノ處分ヲスルコトハ、現在荒レテ仕舞ツテ、草ガ生ヘタトカ、石ガ流レタトカ云フニ止ルコトダラウト思フ、夫デ其處ガ窪ミ仕舞ツタトカ、大變高クナツタトカ云フコトハ格別デ、サウ云フコトハ地租條例或ハ地所取扱ニナイツフガ、是ハ抑、私ハ合點ノ行カヌノデ、是ハ澤山アルノデ、河缺ニナツテ仕舞ミ溝渠ニナツテ、五尺モ七尺モ一丈モツクリナクナツテ仕舞ミタコトハ、是マデ確ニ處分シタコトハ諸君モ御承知ノコトデアアル、此砂ガ三尺モ四尺モ五尺モ田地ニ入り、或ハ宅地ニ入りスル様ナ事モアルノデアリマス、夫ガ今度ノ震災許ハ地ガ高クナツタリ、低クナツタリスル事ハナイ、是ニハ相當ノ年限ヲ切ツテ免稅シ、十年ハイカヌニシテモ、二十年ハ荒地若ハ、段々ト年ヲ續イテ其後舊ニ復セヌ時ハ、官有地ニスルカ何カニスルノ處分ガアル様ニ考ヘル、然ルニ今度ノハ其縣下ニ稅ヲ免稅シテヤツタリスルコト云フニアツテ、十年立ツテモ、免稅ノ力ヲ以テ之ヲ恢復スルコトガ出來ナイ時分ニハ、ドウ云フ處分ヲ爲サル、カト云フコトヲ一應伺ヒタイ

〔政府委員大藏次官渡邊國武君演壇ニ登ル〕

○政府委員(渡邊國武君) 唯今ノ藤田君ノ御説ハ成ル程地形ヲ變シテ、田畑デアツタモノガ砂ガ這入り河ニ成リ、スレバ地租條例テ往クノデアリマス、是ハ今申シタ一例ハサウ云フノデアリ、是ハ田ノ儘デ一村ナラ一村窪ミ、畑ハ畑ノ儘デ高カマツタモノハ、是ハ決シテ田ノ形ヲ損セズ、畑ハ畑ノ形ヲ損セズガ、何分地租ヲ持ツコトハ出來ナイ、是ハ一ツノ例デアリマス、先ヅサウ云フ場合ニ用フルモノト御承知ニナリマスレバ、所謂地租條例ヲ應用スベキ部分ト此特別處分法ノ應用セラルベキ場合トノ一般ガ御分リニ成ルダラウト思ヒマス

○藤田孫平君(百九十七番) モウ少シ、私ハマダ了解ガ出來マセヌ

○議長(中島信行君) モウ大抵——是デ分ラナイノハ仕方ガナイ

○末松謙澄君(五十三番) 政府委員ニ質問スルガ、此議案中ニ「行政命令ヲ以テ期限ヲ定メ」云々トアリマス、而シテ説明中ニハ行政官ノ處分ト云フ様ナ風ニ書イテアリマス、行政官ノ適宜ノ處分ヲ許シテアル様ニ書イテアリマデスガ、夫カラ對照シテ見ルト、行政命令ト云フモノガ如何ニモ普通ノ行政官デスルカノ如クニ見エマス、而シテ行政命令ノ種類ヲ區分スルト、無論勅令省令ナド相合シテ總稱シタモノニ相違ナイノデアリマス、併ナガラ是マデノ例ニ依リマスレバ、行政命令ト雖モ勅令ヲ以テ云々ト、ハツキリ極メタコトガアルノデアリマス、此案ノ事柄ノ如キバ、其事隨分重大デアアル、國民ノ租稅ヲ許シ、免稅減稅又ハ追納ノ處分ヲスルト云フコトデアリマスカラ、國民例ヘハ法律ヲ議會ニ諮フテセラルコトダカラ、勅令ト云フ位ノ所ハドウシテモナケレネバナラナイト考ヘル、然ルニ漠然ト行政命令ト云フコトヲ書キ

マス、一省ノ命令ヲ以テ、或ハ一縣ノ命令ヲ以テシテモ出來ルト云フ様ナル嫌ガアリマス、斯ク漠然ト書クノハ如何ナル理由デアリマセウカ、第一ニ尋ネマス、而シテ期限ヲ定メト云フコトガアリマスガ、漠然ト期限ヲ定メト云フト、十年デモ百年デモ千年デモイケルト云フコトデアリマス、勿論ソナ馬鹿ナコトハナイト云フ御答ガアリマセウガ、私杯ノ考デ致シマス、數年間餘程長ク要スル時ニ、議院ノ議決ヲ要スル特別ノ法律デナクテハナラヌデアラウト思フ、故ニ一時ノ急ヲ救フ場合ニ於キマシテハ、命令ヲ以テ三年以內トカ何トカ云フ如キ期限ヲ立ツベキ答デアラウト思ヒマス、然ルニ此案ニハ無期限ノ權ヲ與ヘタ如キデゴザリマス、是ハ何カ深い意味ガアリマスコトデアリマスヤ否ヤ、適當ノモノデアリマスナラバ、其權ヲ上ゲルコトデアラウト思フ

〔政府委員大藏次官渡邊國武君演壇ニ登ル〕

○政府委員(渡邊國武君) 唯今末松君ノ御質疑ハ少シク修正説ニ近イ様ナ御質疑デアリマシタガ、行政命令ノ中ニハ種々アリマスルガ、政府ノ見ル所デハ此等ハ重大ノコトデアリマスルカラ、勅令デ發セラレルガ相當ト考ヘテ居リマス、期限ノ所ハ此法律ニ定メテ置カヌ所以ハ、前申ス通アラユル場合ヲ指定シ能ハザル法律ノ取除ヲ指定シタノデアリマスカラ、是又期限ヲ定メテ、若シ取除ヲシナケレバ出來ヌ様ナ場合ガ起ルデアラウト云フノデ、法律ニ期限ガ定メテナイノデアリマス、併シ無期限デアルト云フト云フコトハ、少シ違フテ居ルコトデ、即チ期限ヲ定メト云フコトデアリマスカラ、矢張期限ヲ定メテ、長短ハアリマセウガ、減稅免稅又ハ延納等ノ事ヲスル見込デアリマス

○末廣重泰君(二百九十六番) 本員モ簡單ニ承リタイト存ジマス、ドウ云フ譯デ斯ノ如キ事ヲ行政官ニ任スト云フ議案ガ出ヌデアラウト思フテ、最初ハ怪シダ所ガ、段々方々ノ質問ノ御答ニ依ツテ見マスルニ、法律ハ非常ノ場合ヲ網羅スベカラザルコトデアアルカラ、斯ウ云フコトデアアル、所ガ成ル程地震ノナイ中ニ地震ノ事……(此處聽取スルコト能ハズ) 洪水ノ場合……地震ノ場合……茲ニ大水ノアル場合ニ於テ年限……此位ノコトハ誰ニモムヅカシイコトデハナイダラウト考ヘマスガ、法律ハ非常ノ場合ヲ網羅スルコトハ出來ナイト云フ御答ハ、先刻誰カノ御尋ニ對シテアリマシタガ、是ハ地租條例カラ更ヘネバナラヌモノデアラウト云フ議論モアリマシタガ、本員杯モソナモノデアラウト考ヘマス、所ガ段々質問ニナルト云フト、愛知岐阜ノ事ヲ御持出シナツタ、シテ見ルト云フト、斯フ趣意ヲ取ツテ差支ナイ、此事柄ハ先ヅ法律ヲ以テヤラナケレバナラヌモノデアアルガ、目下岐阜愛知ノ困ルカラ、コンナ法律ヲ出サシテ置イテ、目前ノ急ヲ防ギ、他日又法律ヲ作ッテ完全ノモノニ仕ヤウト云フ考デアルト本員ハ解釋致シマシテ宜シウゴザリマセウカ、又ハ政府ハ何時マデモ地租條例ハ地租條例デ置イテ、法律ハ非常ノ場合ヲ網羅スベカラザルモノデアアルカラ、何處マデモ此法律ヲ永遠ニ保存セラレル考デゴザリマスガ、ドウカ御説明ヲ請ヒタイ

〔政府委員大藏次官渡邊國武君演壇ニ登ル〕

○政府委員(渡邊國武君) 唯今末廣君ノ御問ハ、政府ノ見ル所ニ依リマスレバ、差掛ツテ居ルコトハ此度ノ震災デアリマスルガ、此ノ如キ通例ノ法律ヲ以テ規定シタ範圍外ニ出デタル非常ノ事ハ、將來復ナキコトヲ保チマセヌカ

ヲ、此取除ノ場合ハ取除ノ場合、通例ノ法律ハ通例ノ法律ト、二途ニ分ケテ、永遠ニ此事ヲ執行スルノ必要アリト認メテ居リマス

○佐々木正藏君(二百八十六番) 本員モ尙ホ説明ヲ求メマス、諸君ノ御問答デ分リマシタガ、尙ホ一二箇所御尋致シタイ、唯今答辯サレル所ノ趣意ヲ聽イテ見マス、成ル程將來ニ此法律ヲ置キテ適用スルコトデアリマスガ、例ヘバ本年直チニ之ヲ行フ所ハ岐阜愛知ノ如キ即チ震災地ニ止ルト云フ譯デアアルケレドモ、水害地ノ如キニモ適用スルコト云フノ御辯明デアリマスルカ、既往ノ事ニ徴シテ御尋致シマス、例ヘバ十津川郷ノ洪水トカ、或ハ先年和歌山或ハ福岡ト云フ様ナ洪水又本年ノ富山或ハ福岡等ノ洪水、是ハ之ニ該當シテ免租ヲ受ケ特免ヲ受ケルト云フ見解デアリマセウガ、其一點ト又果シテ此法律ガ行ハレタト見タナラ、目下岐阜愛知ニ對スル所ノ處分上ニ就イテ、即チ金額ノ點ニ就イテ如何程位關係ヲ有スルモノト云フコトハ、略、御調ベガアツタダラウト思ヒマス、此御答辯ヲ願ヒマス、夫ガ第二、夫ト彼ノ震災地デアレバ、今此御答辯ニ依ッテ斯ノ如キ場合ニ適用スルコト云フコトハ分リマスガ、水災地ニ至ッテハ御承知ノ如ク、荒地規則ヲ適用スル場合、即チ洪水デ石砂ガ入ッテ、或ハ石砂ガ流出致シマシテ、即チ作土ノ變更ニ就イテ、荒地規則ヲ適用サレルカ、又實地ニ就イテ見マス、今ノ作土ノ變更ナクシテ、堤防破壊ノタメニ浸水地トナッテ、盡ク作物ガ敗腐ニ屬スル時ノ場合ガアル、一粒ノ收穫モナイ、斯ウ云フ場合ニテモ作土ノ變更ガナイカラシテ、荒地規則ヲ適用スルコトガ出來ナイト云フテ、免租ニナラヌコトガアル、所ガ石砂ガ入ッテ居レバ、多少收穫ガアツテモ免租スル一方ニハ、石砂ガ這入ッテ居ラヌカラシテ、一粒ノ收穫ガナイトモ、通例ノ租稅ヲ納メルコトニナッテ居ル、其實地ニ就イテ見ルト、餘程不權衡ナ所ガアルト豫テ認メテ居ル、サウ云フ場合ニハ即チ作土ノ變更ガナイデモ、數日間浸水致シテ、一粒ノ收穫ガナイト云フ場合ニモ、此法ヲ適用サレルヤ否ヤト云フコトノ御答辯ヲ願ヒマス

(政府委員大藏次官渡邊國武君演壇ニ登ル)

○政府委員(渡邊國武君) 唯今ノ御質疑ノ既往ノコトデゴザイマスガ、モウ一應行政處分ヲ經タモノハ此法律ガ出タカラト云フテ、回復スルコトハ出來マセヌ、未ダ處分ニナラザルモノハ此法律ガ可決サレテ、果シテ適用スレバ、所謂非常ノモノデアッタナラバ、適用スルコトガアリマス場合ガゴザイマス、夫カラ金額ハ概計シタモノデ、未ダ確定シタモノデアリマセヌガ、凡ソ兩縣下ニ分テ居リマスガ、通常ノ法律ニ依ッテ減ズルモノガ四十萬圓許アリマス、此特別ノ處分ヲ用ユルノガ三十萬圓位ニ止マルダラウト云フ見込デアリマス、夫カラ又モウ一ツ荒地ト兩縣ノ御問ガアリマシタガ、是ハ大抵今ノ答デ御了解ニナリマシタラウガ、是ハ所謂通常ノ法ト並ビ行ヒ、通常ノ法律ニ依リ得ル限ハ通常ノ法律ニ依リ、能ハザル部分ハ範圍ヲ廣メテ行フ、左様ニ御承知ノ願ヒマス、唯今ノ又地租條例ニ依レバ、地形ガ變ラナケレバ免稅ニナラヌト、一方ノ方ヨリ一粒モ取レナクテモ、荒地ト成ラヌ以上ハ致方ガナイ、是ハドウスルト云フお問デアリマス、此特別處分法ハ法案ニ書イテアリマス通、非常ノ損害ヲ受ケタル地方ニ對スルモノデアリマス、夫等ハ矢張通常ノ法律ノ支配ヲ受ケルコトハ免レヌト考ヘル

○堀内賢郎君(十二番) 今政府委員ノ御答デ、私ノ疑問モ稍々満足ヲ致シマシタガ、尙ホ御尋致スコトガアリマス、夫ハ午前デアリマスガ、二十四年度ノ豫算ノ追加案ヲ審查シマスル所ノ委員會ニ出ラレタ所ノ政府委員ノ言葉ニ依レバ、今度岐阜愛知兩縣ノ震災ニ就イテハ斯ノ如ク大工事デアルケレドモ、有租地ニ害ヲ及ボシタト云フハ少イ、或ハ地面ガ龜裂シタトカ多少ノ損害ハアツタケレドモ、夫程有租地ニ害ハナイト言ハレタ、然ルニ本院ニ於テ渡邊君ガ云フ所ノ現在ノ法ニ依ッテ延納スベキモノガ四十萬圓、及ビ今度提出セフレタ所ノ此法案ノ結果ニ依ッテ減ズベキモノガ三十萬圓アルト云フ、隨分莫大ナモノデアリマス、同一政府委員ニシテ一方ニ於テハ著シキ減少スベキモノハナイト云ヒ、一方ノ政府委員ハ非常ニ金額ノ多イヤウナ説明ガアルガ、此邊ノコトニ就イテ政府ニ於テハドウ云フ御見込デアリマス

○政府委員(渡邊國武君) 本官ノ唯今辯明致シマシタ彼震災アルニ及ンデ、即チ主稅官ヲ派出致シマシタガ、中ミ未ダ精細ナル調ハ致シマスガ、先ヅ達觀上凡ソ積立デタ所ハ、其位ノモノダラウト云フ考デアリマス

○堀内賢郎君(十二番) サウシマスルト、政府委員ノ言葉ハ二様ニナッテ居リマス、一方ノ政府委員ハ極僅少ダ、一方ハ七十萬圓アルト云フ、甚ダ我ミガ調査上ニ就イテ惑ヲ生ジマス

○政府委員(渡邊國武君) 僅少ト云フコトハドウ度合ヲ指シタモノカ、金額ガ一方ハ十萬圓デアアル、一方ハ二十萬圓ト云フタラ違ヒマスガ、彼ノ災害ニ比ブレバ割合ニ少ナイト云フ、斯云フコトダラウカト推察サレマスガ、先ヅ本官ノ申ス所ハ、現ニ唯今申ス如ク、實際ヲ取調ベテハナイ、達觀上デアリナガラ、其筋ノ官吏ガ先ヅ其位ダラウト云フ見積カラ出來タノデマリマス

○堀内賢郎君(渡邊國武君) 唯今申シタ通

○角利助君(百六十五番) 少シ質問致シマスガ、唯今政府委員ノ説明ニ依レバ、免租減稅又ハ延納ノ處分ヲ爲スト云フ事柄ハ、單ニ地租ノミヲ指サレタモノ、如クデアアルガ、或ハ土地ガ上ツタリ下ツタリシタノハ、シナイト云ハレタガ、然ルニ此本文ヲ讀ンデ見マスと云フト、其土地ノ收利又ハ人民ノ生産ヲ回復セシムルタメニ特別ノ處分ヲ要スル時ハ、免稅減稅ト云フ意味ニナツテ居リマス、此意味カラ解釋ヲ下スト云フト、免稅減稅ト云フコトハ、アラユル、國稅即チ地租ノ外酒或ハ烟草杯ノ如キモノマデモ含ム様ナ文意ニ解釋ガ出來マス、是ハ矢張單ニ地租ノミヲ指シタモノデゴザイマス、或ハ人民ノ生産ヲ回復スルタメニハ、アラユル國稅ヲ免除減稅若クハ延納スルト云フ意味デアリマス、一應確メテ置キマス

○政府委員(渡邊國武君) 是ハ通常減稅免稅ニ當テ箱マラザル部分ガアレバ、地租ニ限ラズ他ノ稅ト雖モ、矢張適用スル見込デアリマス

○議長(中島信行君) 何ウデセウ、モウ委員選舉ト致シテハ……

○伊藤大八君(二百七十二番) 此法律案ニ就イテ質問ガ方々カラ出マシタカラ、大抵此法律ヲ要スルト云フコトノ箇條ハ解リマシタガ、斯ウ云フコトヲ政府委員ハ言ハレタ、震災洪水其他抗拒スベカラザル災害ニアツタ折ニ、非常處分ヲ行フニハ、是等ハ法治國デナカッタ、語ヲ換ヘテ反對シテ言ヘバ、專斷政治デアツタカラ、恣ニ其時分ハ出來タガ、今日ハ憲法ト云フモノガ實施セラレテ、法治國トナツタカラ、斯ウ云フ處分ハ出來ナイ、即チ憲法ノ許ス所ノ命令權ハ、或ハ法律ニ從ハナケレバ事々物々如何ナルコトデモ、行政上ノ處分ヲ以テ事ヲ執ルコトガ出來ナイ、故ニ此法律ヲ必要トスルト云フ様ニ

安田君ダカニ御答ヘニナツタカト考ヘテ居ルガ、斯様ナ意味ダト承知シテ宜シウゴザリマス

○政府委員(渡邊國武君) 左様ナ意味デハナイノデアリマス、法律ノ定メタ事ヲ動カスニハ、法律デナケレバナラヌ、一切ノ行政處分ヲ皆法律ヲ以テ定メナケレバナラヌト云フ主意デハナイ

○伊藤大八君(二百七十二番) サウシテ見マスルト云フト、是等ノ事ハ法律ニ定メテアリマス

○政府委員(渡邊國武君) 既ニ地租條例其他ニ減税免稅ノ方法ガ定ッテ居リマス、其範圍外ニ出デル處分ハ法律ヲ以テヤラナケレバ出來マセヌ

○伊藤大八君(二百七十二番) サウシテ見ルト、事々物々行政處分デ何ソデモ出來ルト云フ意見デアリマス、事々物々ト云フハ何ソデモ、則チ憲法上ニ評シテアリ憲法上ニ明文ガアル所ノ命令其他ハ、法律ニ依ラナケレバ、行政上ノ事ハ事々物々出來ナイカト云フト、サウデナイト云フ、サウデナケレバ憲法ニ反イデモ何ソデモ、行政上ノ活機トカ何ソトカ云フ名義ヲ附ケテ出來ルカト云フ……

○政府委員(渡邊國武君) 法律ニ規定シタル事ハ法律ヲ以テ取除ケルニアラザレバ出來ナイト答ヘマシタ、法律尙ホ斯ノ如シ、況ヤ憲法ニ反イタ事ハ決シテ致スベキモノデハゴザリマセヌ、是ハ立憲國ノ國民タル者ハ皆左様ニ心得テ居ラネバナラヌト心得ヘマス

○岡田眞一郎君(九十一番) 私モ少シ質問致シマス、此岐阜愛知ノ震災ハ非常ノモノニ違アリマセヌガ、政府委員ハ土地ガ陷落シタト云ハレタガ、其タメニ此年收穫ガ皆無ニナツタ譯カ、皆無ニナツテモ、收穫ハ存シテ居ルカ、或ハ土地ガ突起シテモ收穫ハ存在シテ居リマス、土地ノ陷落或ハ突起ニ依リテ收穫ハアルト雖モ、人民ノ生活ヲ恢復スルタメニ、政府ハ免稅シテヤルト云フ趣意デアリマス、收穫ノ有無ハ問ハヌ様ニ見エマスガ、收穫ガアツテモ、免除スルノデアリマス

○政府委員(渡邊國武君) 唯今岡田君ノ御質疑ハ、此法律ガ通過シテ、更ニ勅令ヲ發セラレテ、夫ニ應ズル中ニ宜ッテ居ル様デゴザリマスガ、本官ハ實地ニ臨ミマセヌカラ、精イ御話ハ出來マセヌガ、實地ヲ見マシタラバ、土地陷落ノ中ニモ生産物ノ全ク存在シテ居ルノモアリアセウ、半分存在シテ居ルノモアリマセウ、夫等ハ勅令ノ規定スル所ニ依ッテ、適宜處分ヲシテ宜シカラウト思ヒマス

○岡田眞一郎君(九十一番) 素ヨリ非常ノ損害ヲ受ケタ處ヘ此法律ヲ適用スルノデスカ

○政府委員(渡邊國武君) 損害ヲ受ケナイモノニ向ッテ此法律ヲ適用スルコトハセヌデアリマス

(無用々々ノ聲四方ニ起ル)

○太田實君(五十一番) 私ノ聽カント欲スルコトハ(無用々々)三十万圓ト云フノハ特別法ニ依ッテ處分スル事柄ト併セテ七十万圓、是ハ重ニ地租ニ關係致スト聽取リマシタ、果シテ然レバ間税ニ關スル減額ハ幾ラ位アリマス、承リタイ、例ヘバ烟草酒其他ノ類デ……

○藤野政高君(百十五番) 本員ハ特別委員ノ人員ヲ九人ト極メテ、各部デ選出スルコトニシタイ

(贊成々々ト呼ブ者アリ)

○太田實君(五十一番) 唯今ノ御答ヲ……

(政府委員大藏次官渡邊國武君演壇ニ登ル)

○政府委員(渡邊國武君) 唯今ノハ、實ハ達觀上カラ申シタコトデゴザイマスガ、先ツ損害ハ其位ト思ヒマス

○太田實君(五十一番) 間税モ含ンデ居マスガ、是ハ精シク調べヌト分リマセヌ

○政府委員(渡邊國武君) 先ヅ其見込ミデアリマスガ、是ハ精シク調べヌト分リマセヌ

○議長(中島信行君) 決ヲ採リマス、藤野君ノ動議ハ委員ヲ九名トシテ各部ニ於テ選舉スルト云フ……

(異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(中島信行君) 異議ガナケレバ其通……次ノ議案ニ移リマス、次ノ議案ハ朗讀ヲ省略シマス

第三 明治七年以後ノ戰役ニ死歿シタル軍人軍屬ノ遺父母及祖父母扶助ニ關スル法律案(政府提 第一讀會 出貴族院送付)

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノ爲ニ掲載ス)

明治七年以後ノ戰役ニ死歿シタル軍人軍屬ノ遺父母及祖父母扶助ニ關スル法律案

第一條 明治七年佐賀及臺灣ノ役明治九年熊本及山口ノ役明治十年鹿兒島ノ役ニ從軍シ戰闘若クハ公務ノ爲メ死歿シ又ハ傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リ之ニ原因シテ死歿シタル軍人軍屬ノ現存セル遺父母及祖父母ニハ當時ノ法規ニ依リ從軍者ノ寡婦ノ受ケタル若クハ受ケヘキ扶助料ヲ給ス

前項ノ戰役ニ當リ臨時軍隊ニ編入セラレタル者及戰地ニ派遣セラレタル軍人軍屬ニシテ死歿ノ原因從軍者ト同シキハ其ノ遺父母及祖父母ハ前項ニ依ラシム

前二項ニ掲クル父母祖父母ハ軍人軍屬及臨時軍隊ニ編入セラレタル者戰死ノ時又ハ死歿ノ原因トナリタル傷痍ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタル時ノ陸海軍兵籍簿中若クハ戸籍簿中ニ在ル者ニ限ル

第二條 第一條ニ當ル父母祖父母アルモ同一戸籍内ニ於テ現ニ扶助料ヲ受クル者アルトキハ其ノ間扶助料ヲ給セス

第三條 扶助料ハ本法施行ノ日ヨリ起算シテ之ヲ給ス

第四條 扶助料ヲ受クル者ノ權利消滅停止及停止中扶助料ノ支給並ニ扶助料ノ轉給及支給ノ順序ハ現行軍人恩給法ノ定ムル所ニ依ル

第五條 遺父母及祖父母ニシテ廢家其ノ他ノ事故ニ因リ他家ニ入籍シタル者遲クモ本法施行後三箇年内ニ廢家再興又ハ復籍スルトキハ其ノ再興又ハ復籍ノ日ヨリ本法ニ依リ扶助料ヲ受クルコトヲ得

第六條 扶助料ハ轉給ノ場合ヲ除クノ外本法施行ノ日ヨリ三箇年内ニ請求セサルトキハ其ノ權利ヲ拋棄シタルモノトス

第七條 本法ハ明治二十五年四月一日ヨリ施行ス

(政府委員(尾崎三良君) 次ノ原案即チ議事日程ニアリマス所ノ明治七年

○政府委員(尾崎三良君) 次ノ原案即チ議事日程ニアリマス所ノ明治七年以後ノ戰役ニ死歿シタル軍人軍屬ノ遺父母及祖父母扶助ニ關スル法律案デゴザリマス、例ニ依リマシテ此法律案ノ制定ニナラネバナラヌ理由ヲ簡單ニ述ベテ、諸君ノ御協賛ヲ仰ギタイト存ジマス、此明治七年カラ明治十年マデノ戰役ニ死歿シタル者ノ、父母、遺父母ト云フモノハ、其時分ノ法律ニ依リマシテ、扶助料ヲ受ケテ居ラヌモノガ段々アルノデゴザリマス、夫故這同此法律ヲ制定シマシテ、此等ノ寡孤獨ノ一ナル子ノナキ父母ニ恩給ヲ與ヘタイト云フノ精神デアリマス、今日此法律ノ必要ナル所以ヲ諸君ニ向ッテ述ベヤウト思ヒマスレバ、少シク陸軍恩給令ノ沿革ヲ述ベマセスト、充分ニ辯解ガ出來兼ネマスカラ、明治七年以後ノ恩給令ノ沿革ヲ極單簡ニ述ベテ、御參考ニ供シマスデゴザリマス、此陸軍恩給ニ關スル規則ト云フモノハ、明治八年マデハ是ト定マツタモノモナカシタノデアリマス、所ガ此明治七年ニハ諸君モ御承知ノ通、佐賀ノ役、臺灣ノ役ト云フモノガゴザリマシテ、其節ニハ大分ニ戰場ニ於テ戰死シタル者モアツテ、殊ニ臺灣ノ役杯ニ於キマシテハ疾病ニ罹ッテ、夫ガタメニ死歿シタル者モ往々アリマス、此二役ガ止ンダ後ニ至リマシテ、此等ノ者並ニ死シタル者ノ遺族ガ非常ニ難義致シテ居リマス、ケレドモ之ニ相當ノ扶助料又ハ恩給ヲ與ヘル所ノ規則ガゴザリマセナシタ、夫故ニ此等ノ者ニ是非何トカ一定ノ規則ヲ設ケテ、恩給ナリ扶助料ナリヲ與ヘネバナラヌト云フ所カラ、差急イデ取調ベマシテ、規則ヲ發布シナリマシタノガ、即チ明治八年ノ四月デアリマス、所ガ此規則ト申シマスルモノハ、何分ソコニ負傷人ダノ或ハ戰死シタル者ノ遺族ノ難澁シテ居ル者ヲ見テ、唯々ニ作ッテ規則デアリマスルカラ、甚ダ不完全ナモノデアリマス、併ナガラ不完全ナ代リニハ、又日本ノ風俗ニ適當シテアル所ノ精神ガ充分ニ籠ッテ居リマシテ、即チ其規則ニ依リマススト云フト、戰死シタル者又ハ戰場ニ於テ手創ヲ負ヒ疾病ニ罹ッテ之ガタメニ死歿シタル者ノ家族ニハ夫ニ扶助料ヲ遺ル、其家族トハ父母妻子ト斯ウ數ヘテゴザイマシテ、即チ日本ノ風俗ニ適當シテ、父母ガ先ヅ先ニナリマシテ、妻子ガ次ニナツテ居マス、所ガ如何セン夫ニハ缺點ガゴザイマシテ、其規則ニ祖父母ヲ除ケテゴザリマス、夫カラ又此父母ニ及ブノモ、其戰死シタル者ガ戸主デナケレバ行カヌコトニナツテ居リマス、若シ戸主デナイトキニハ、唯其妻子ニ其扶助料ヲ與ヘルコトニナツテ居リマス、夫故ニ若シ幸ニシテ其戰役ニ出タル者ガ戸主ニナツテ居リマシテ、其親父ナル者ハ隱居ノ身分デ居リマス時分ニハ、即チ其父母ガ扶助料ヲ受クルコトガ出來マスガ、若シ不幸ニシテ其戰役ニ出マシタル者ガ未ダ戸主ニナラザル時ニハ、縱令其母ガ一年ノ子供デアツテモ、必ズ之ガ跡取ニナツテ、老後ニハ扶助ヲ受ケテ生活ヲ安樂ニシヤウト思ッテモ、若シ不幸ニシテ未ダ戸主デナカッタ時ハ、其親父ノ扶助料ヲ受クルコトガ出來ヌノデゴザイマス、所ガ此戸主ニシテアルトカ未ダ家督相續ヲサセテナカッタト云フコトハ、眞ニ偶然ノコトデアツテ、決シテ有心故造ニドウシタト云フコトハナイノデゴザイマス、然ルニ斯ル偶然ノ所カラシテ、國家ガ酬ニル所ノ結果ガ大變ニ厚薄ガゴザイマシテハ、甚ダ是ハ規則上缺點デアリマスカラ、此等ノ者モ此度此扶助法律ガ出マスレバ、其恩典ニ與ル様ニナリマスノデゴザイマス、夫カラ唯今モ申シタ通、明治八年

ニ出タル恩給規則ト云フモノハ至テ粗漏ノ調方デ、勿論其時分ハ何レ精シイモノヲ作ル積デ、差急イデ制定致シタノデ、其時ノ布告ニモ當分此規則ニ依ルベシト書イテゴザイマス、決シテ之ヲ以テ長ク之ニ由ラシムルノ精神デハゴザリマセナシタ、故ニ其項カラ取調ニ著手致シマシテ、段々歐羅巴ノ各文明國ノ規則杯ヲ取調ベマシテ、之ニ依ッテ制定致シタノガ、明治九年ノ十月ノ太政官令第九十九號ノ達ヲ以テ出マシタノガ即チ陸軍恩給令デゴザイマス、其恩給令ト云フモノハ、歐羅巴各國ノ法律ヲ取捨參照致シマシテ、餘程精密ニシタモノデアリマスカラ、餘程全備シテ居リマス、其中ニハ將校ノ退隱料或ハ將校以下下士卒ニ至ルマデノ恩給法——又死シタル後ノ遺族扶助料モ餘程綿密ノ調ガ出來テ居リマスガ、併ナガラ餘リ歐羅巴ノ流義ヲ採リ過キマシタト見エマシマスレバ、其家族遺族ト云フモノハ妻子ニ止メテゴザイマシテ、父母ニハ及バナイコトニナツテ居リマス、是ガ最モ今日ニ於キマシテ缺點ト思ヒマスル點デアリマス、デ尤モ其時カラ父母ニハ九デヤラナイト云フト、幾許カ我日本ノ習慣風俗ニモ違ヒマスルニ依ッテ、其規則ノ附則ト云フモノヲ設ケマシテ、若シ戰死者ガ妻子ガナク父母許リ存シテ居ッテ、其父母ガ其戰死シタル者ノタメニ生活シテ居ッタル者デアツテ、他ニ之ヲ扶助スル子孫モナク、又自ラ生活スルノ財產モナク、目下飢餓ニ迫ルト云フ様ナ事情ノアル者ハ、其府縣ノ知事令カラ委シク事情ヲ上申シマシテ、內務卿ニ申出デ、內務卿カラ太政官ニ申請シテ、特別ノ詮議ヲ以テ、一時ノ救助ヲ賜ルコトニナツテ居リマシタ、所ガ一時ノ救助デアリマスカラ、到底之ヲ以テ永遠ニ活計ニ堪ヘルト云フ譯ニハ參リマセヌ、夫故ニ其戰死シタル者ガ幸ニシテ妻子ガアツタトキハ、其老父母ナル者ハ僅ニ其息子ノ嫁或ハ孫ノ受クル扶助料ニ依ッテ、僅ニ生活ヲ爲シテ居ルノデゴザイマス、所ガ不幸ニシテ其息子カ妻子ガナカッタトキハ、一時難澁ヲ申立テ、一時ノ救助ヲ受ケテアリスケレドモ、最早其救助ハ僅ノモノデアリマスカラ、一年カ二年ハドウカスウカ凌イデ居リマスケレドモ、之ヲ以テ永久ニ生活スル譯ニ行キマセヌカラ、必死難澁ヲシテ居リマス、又嫁孫ガアリマシテ、其御蔭デ生活シテ居ッタル者モ、或ハ嫁ガ死スルトカ他ニ縁付クトカ云フ場合ニ至リマス、最早其父母ナル者ハ何モ頼ルベキモノハナイノデゴザイマス、諸君モ御承知ノ通、最モ此戰場ニ於テ死歿シタル者或ハ手創ヲ負ヒ疾病ニ罹ッテ餘計ニ死シタル者ハ明治十年ノ役デゴザイマス——鹿兒島ノ役デアリマス、其前即チ明治九年ノ山口熊本ノ役モ大分アリマス、所ガ一番多イ戰死シタル者、扶助シテ死シタル者ノ多イノハ、此明治九年ノ唯今申シタ通ノ恩給法ニ依ッテ處分サレテ居ルノデゴザイマス、夫故ニ今日ニ於キマシテハ、嫁孫ヲ失ヒ、或ハ始カラ其死シタル者ガ妻子ノナイ者ハ必死困難ヲ致シテ、目前飢餓ニ迫リ掛ケテ居ル者モアルノデゴザイマス、然ル處如何セン法律ニ依ルベキモノガナイニ依ッテ、今日マデ其儘ニナツテ居ルノデゴザイマス、尤モ此明治九年ノ恩給法ハ如何ニモ我國風ニ適ハナイト云フ論ガ其後追々ゴザイマシテ、遂ニ明治十六年ニ至リマシテ、軍人恩給令ノ改正ガゴザイマシタ、其改正ノ時ニハ稍々日本ノ風俗ニ立戻リマシテ、即チ妻子ノ受クヘキ扶助料ノ三分ノ二ヲ其父母又ハ祖父母ニ給スルト云フコトニナリマシタ、斯ノ如ク稍々父母ニモ其恩典ガ及ブ様ニ明治十六年ノ改正ニ依ッテナリマシタケレドモ、如何セン法律ハ既往ニ遡ルコトハ出來マセヌニ依ッテ、一番國ノ

タメニ餘計死シタ明治十年ノ鹿兒島ノ戰役ニ死歿シタル者ノ遺族ハ此恩典ニ與ルコトガ出來マセヌノデゴザイマス、此明治十六年ノ恩給令ニ依ッテ處分ヲ受ケタ者ハ、僅ニ明治十七年ノ朝鮮京城ノ變亂ニ於テ戰死シタル者ガ之ニ依ッテ處分ヲ受ケテ居ル丈デゴザイマス、夫カラ其後マダ充分ニ我國ノ風俗ニ適セナイト云フ論ニナリマシテ、遂ニ明治二十三年即チ昨年デゴザイマス、昨年ノ三月ニ至リマシテ、陸軍恩給令ト云フモノヲ發布ニナリマシタ、夫ハ即チ今日行ハレテ居ル所ノ現行法デゴザイマス、此現行法ニ依リマスト、父母モ祖父母モ妻子ノ受クベキ同格ノ扶助料ヲ受クルコトニナッテ居リマス、是デ以テ始テ我國ノ風俗ニ最モ適當シタル現行ノ法律ニナッタノデゴザイマス、所ガ如何セン法律ハ既往ニ及バズテ、唯今モ申ス通、明治九年山口熊本ノ役、明治十年鹿兒島ノ役ニ最モ酸鼻ヲ極メテ戰死ヲ致シタルモノ、父母祖父母ニ至リマシテハ、唯今日ノ寬典アルヲ羨ンデ居ル、丈ノコトデアッテ、實際此等ノ者ヲ救助スルニ途ガナイノデアリマス、ドウ致シマシテモ國家ノタメニ戰死シタル者ハ何モ知ラズニ地下ニ居リマス、ナレドモ無論自分ガ國ノタメニ死シタル者ハ、自分ノ親位ハ國家ガドウカシテ呉レ様ト安心シテ居ルニ違ヒナイ、然ルニ我々生存者ガ之ヲ見テ知ラヌ顔シテ居ルト云フコトハ、ドウシテモ出來マセヌ、又夫デハ國家モ義務ヲ盡シタルモノデナカラウト存ジマスカラ、是ハ何卒諸君ニ於キマシテモ速ニ御決定ニナランコトヲ希望致シマス、無論此事タルヤ何モサウ緊急ヲ要スルト云フ譯合デモアリマセヌケレドモ、之カ幸ニ此院ニ於テ決定ニナリマスレバ、上奏裁可ヲシタル上ハ、速ニ追加豫算ヲ提出シテ、再ビ此院ノ協賛ヲ經ナケレバナリマセヌデ、成ルベクハ審査委員ヲ設ケラレタ上ハ、速ニ審査ヲ遂ゲラレテ、速ニ御報告ニナッテ、速ニ御決定ニナランコトヲ希望致シマス、又段々此事ニ附イテハ審査委員ヲ設ケラレタ上ハ、私ノ調ベタ丈ノコトハ充分ニ御討論ノ御答ヲ致シマス積デゴザイマス

○東尾平太郎君(百五十四番) 質問ガアリマス、今政府委員カラ軍人戰歿者ノ遺族扶助料ノコトニ就イテ、恩給令ノ講釋ナリ沿革ナリ續々述ベラレマシタガ、私等モ第一軍人戰歿者ノ遺族ノ扶助ヲスルハ國家ノ義務デアリ、政府ノ責任デアルト思ヒマス、然ルニ明治八年ニ出タル所ノ扶助料ハ不完全ダ、其後改正ハシタガ、法律ハ既往ニ遡ラズデ、今日マデ其儘ニシテアルト言ハレルガ、此不完全ノ法律ヲ作ッタルハ、矢張明治政府ガ作ッタルデアルト言ハレ、此間ノ年月ヲ數ヘレバ、十五年ノ日月ヲ經過シテ居ル、今日マデ軍人遺族ノ扶助ヲ等閑ニシテ過去ツタツ云フノハ、國家ノ義務ヲ盡サズ、政府ノ責任ヲ盡サルモノト云ハナケレバナラヌ、昨年マデハ政府ハ自由自在ニ法律ヲ作ル所ノ神通力ヲ持ッテ居ッタノデアアル、然ルニ何ガ故ニ十五年間之ヲ等閑ニシテ置イテ、今日始テ此案ヲ發セラレタノデアアルカ、其所以ヲ承リタイ

(政府委員法制局長官尾崎三良君演壇ニ登ル)

○政府委員(尾崎三良君) 法律ト云フモノハ不完全ノ所ヲ見出シテ、之ヲ改正スルノ點ニ赴クノデアアリマシテ、無論其前ニ今日程ノ考ヲ起シタナラバ、此前ニ是式ノ法律ハ制定シテアッタデゴザイマセウ、然レドモ今マデハ今日程ノ急ヲ見ナカッタ、昨年ニモ一昨年ニモ此論ハアッタノデゴザイマスガ、何分ニモ法律ハ既往ニ遡ラズデ、仕方ガナイト云フ位ノ考デ、過去ツタノデアアリマシタガ、段々其後父母祖父母杯ガ難澁スル有様ヲ見レバ、何分打棄テテ置ク譯ニモ往キマセヌカラ、今日之ヲ出シタノデアアリマス

○東尾平太郎君(百五十四番) 尙ホ伺ヒマスガ、明治八年ニ出シタルモノ、不完全ナルコトガ、政府デハ今日マデ分ラナカッタト云フノデアアリマス

(政府委員法制局長官尾崎三良君演壇ニ登ル)

○政府委員(尾崎三良君) 明治八年ノハ唯今モ申ス通、明治八年ノハ一年カ一年半程ノ施行デ、明治九年ニ改正シテアリマス

○東尾平太郎君(百五十四番) 明治九年ノ改正カラ今日マデ其不完全ナルコトガ氣ガ付カナカッタノデアアリマス

(政府委員法制局長官尾崎三良君演壇ニ登ル)

○政府委員(尾崎三良君) 氣ガ付イタカラコソ明治九年ニ改正シ、又恩給令ハ二十三年ニ至ッテ改正シタルデアアリマス

○東尾平太郎君(百五十四番) 政府ガ今日マデ分ラナカッタト云ヘバ、政府ガ不注意又無能力ト云ヘバ政府ノ無能力ダガ、斯様ナコトハ過言ニ涉ルカラ、私ハ取消シハシマスガ、十五年間等閑ニ附シタルハ、政府ガ責任ヲ盡サナカッタモノト考ヘル

(政府委員法制局長官尾崎三良君演壇ニ登ル)

○政府委員(尾崎三良君) 夫レハ唯今申シタル通、隨分論ガアッタナレドモ、夫程ニ甚シク聞エナカッタカラ、今日マデ等閑ニナッタルデアアリマスカラ、夫ガ遲イト云フ批難ハ御質問デナイト考ヘマス

○東尾平太郎君(百五十四番) 然ラバ今日マデ議論ハアッタガ、政府ハ優柔不斷決シナカッタ、遂ニ今日ニ至ッタルト云フノデアアリマス

(議長々々ト呼ブ者アリ)

(政府委員法制局長官尾崎三良君演壇ニ登ル)

○政府委員(尾崎三良君) サウ一時ニ御質問アッテハ困リマスカラ、ドウカ一人バツ

(藤野政高君演壇ニ登ル)

○藤野政高君(百五十五番) 私ハ此へ上ッテ云フマデノ長々シキコトデアアリマセヌ、私ハ議事拂リノタメニ一言シタイコトガアル、一體此政府提出ノ議案ハ審査委員ニ付スコトハ議院法ノ定ムル所デアリマス、諸君政府提出ノ議案ヲ審査委員ニ委託スルト云フコトデアレバ審査委員ニ於テ充分此議案ヲ審査スルコトデアル、最モ必要ノ場合ニ於テハ其審査會ニ於キマシテ、速記者ヲシテ速記セシムルコトモアル、左レバ我々ハ其審査會ノ結了スルヲ待テ、其委員會ニ於テ政府委員ニ向ッテ充分質問スルコトヲ止メマシテ、委員ノ報告ヲ待ッテ、其時ニ於テ質問スルコト云フ様ナコトニ致シマシタナラバ、大ニ重複ニ涉ルコトモナクシテ、拂リガ宜シイト思ヒマス、第一讀會ノ第一ノ時ニ於テハ、成ルベク此議案ニ對シテ質問スルコトハ止メルコトニシタイト云フコトヲ諸君ノ御賛成ヲ得タイ

(贊成々々ノ聲起ル)

○山田泰造君(百十九番) 議長

○議長(中島信行君) 何デスカ、矢張質問デスカ

○山田泰造君(百十九番) 質問デスカ此法律ノ文案ニハ父母祖父母トノミアリマスガ、其上ノ高祖父母ト云フ様ナモウ一等上ノモノガアリマセヌガ、此立案者ノ意味ト云フモノハ、現在ニ斯ウ云フモノガナイト云フ見込デアリマ

スカ、又在ッテモ、サウ云フコトハ此法律ノ恩典ニ與カラセヌト云フ意味デアリマスカ、此事ヲ一寸承リタイデアリマス

○政府委員(尾崎三良君) 唯今ノ御問ハ一寸聽落シマシタガ……

○山田泰造君(百十九番) スウ云フ意味デゴザイマス、此法又ハ父母祖父母、モウ一ツ階級ノ上ガアリマスガ、高祖父母トカ曾祖父母トカ、斯ウ云フモノヲ之ニ入レヌデモ、此法律ノ恩澤ニ霑ハセヌ者ハ現在ナカラウト云フノカ、或ハ在ッテモ、此法律ノ恩澤ニ浴セシメヌト云フノデアリマスガ

○政府委員(尾崎三良君) 成ル程好ク分リマシタ、實ハ夫マデ研究致シテ居リマセヌガ、併ナガラ私共ノ考デハ、最早今カラ數ヘレバ十四年前、明治十年ニ戰死シタ者デ、是ハ最初軍役ニ出テ戰死スル位デアリマスカラ、二十二年以上ノ者ト思ヒマス、夫ノ父母祖父母ガアル位ナラバ、最早其ノ上ノ曾祖父母高祖父母ト云フ者ハナイト考ヘテ、此議案ヲ起シタノデゴザイマス

○小西甚之助君(二百七十五番) 私モ一ツ極御答ノ仕易イ御尋ラスルノデゴザイマス、サウシテ夫ニ先ツ一言申シテ置カネバナラヌモノハ、藤野君ノ注意ノコトニ關スルモノデゴザイマス、如何ニモ藤野君ノ御注意ハ一應御尤デゴザイマス、併ナガラ此一讀會ノ順序ニ於キマシテ、委員ヲ選舉セナイ前ニ於テ、質疑ヲ許スコトニセラレタ精神ハ如何ナルモノカト云ハハ、全ク早ク此付セラレタル所ノ案ニ付イテ質スベキモノハ質シテ、サウシテ一箇ノ意見ヲ定メシムルニ外ナラヌコトデゴザイマス、之ヲ委員ニ委託スレハ連、夫マデ己ノ意見ヲ定ムルコトヲ禁止スルノ道理ハ決シテナイノデゴザイマス、議案ヲ受取レハ、直ニ己ノ考案ヲ定メナケレバナラヌコトデアアル、然ルニ其疑ノ條件ヲ見出シタナラ、早ク之ヲ質シテ置カナケレバ考案ヲ附クルニ由ナイコトデアリマス、是レ一讀會ノ順序ニ於キマシテ、特別委員ヲ選舉スル前ニ於テ、早ク既ニ此質問ヲ爲スコトヲ許サレタル所以デアリマス、ソコデ私ハ既ニ藤野君ノ御注意アルニモ拘ラス、御尋スルノ他ノ事デアハゴザイマセヌ、本案ノ法律ハ明治二十五年ヨリ施行スルコト云フコトガ末文ニ書イデゴザイマスガ、斯クシマススト云フト、此法律ニ依ッテ扶助ヲ受クベキ父母祖父母ノ殘ツテ居ル者デ、此扶助ヲ請求シ出ルモノト見ラレタ概數ハ定メテ御調ニナツタコトデアラウト思フ、目下生計ヲ失ツテ、困難ヲシテ居ル者ハ少カラヌト云フコトデゴザイマスガ、此案ヲ施行スルストスルナラバ、扶助ヲ申出ベキ人員ハ概ネ幾ラ位アリマスガ、夫ト之ニ就イテ政府ガ扶助スベキ金額ノ御見積ハ幾ラデゴザイマスガ、何レ本案ヲ可決シタナラバ、追加議案ヲ發スルト云フコトハ承ツタコトデゴザイマスガ、既ニ本案ヲ可決スルナラバ、既ニ追加議案ノ金額ハ是認シタモノトナルコトデゴザイマスカラ、是ニ於テ其人員ハ幾ラデアアルカ、之ニ對シテ扶助スベキ金額ハ幾ラト云フコトヲ豫メ承ツテ置クコトハ、敢テ無用ノコトデハナイト思ヒマス

○政府委員(尾崎三良君) 唯今ノ御質問ノ主意ハ此法律ガ施行ニナレバ、實際何程國庫ノ負擔ガ増スカト云フ御質問ト思ヒマスガ、サウデアリマスガ

○政府委員(尾崎三良君) 是ハ甚ダ取調ガ六ケシイノデゴザイマス、然レドモ唯漠然デハ濟ミマセヌカラ、恩給局ニ於テ取調ヘタモノガアリマス、其取

調ベタ所ノ總計ハ七万三千一圓ト云フモノニナルノデゴザイマス、併ナガラ是ハ其當時戰死シタ者並ニ戰場ニ於テ疾病ヲ受ケ或ハ手傷ヲ負フテ死ンダ者等ハ悉ク帳簿ニ載ッテ居リマスカラ、夫等ノ者ハ悉ク皆父母カ祖父母カ何カ一人ハアルモノト臆測シタ調ベデゴザイマス、依テ實際調ベタナラバ、何人モナカラウト思ヒマス、併ナガラ矢張臆測デゴザイマスカラ、斷定シテ申上

タル譯ニハ行キマセヌケレトモ、之ヲ精密ニ調ベルニハ、各府縣ニ命シ、各府縣カラ郡長戸長ニ掛ッテ調ベナケレバナラナイコトデ、容易ノコトデアアリマセヌカラ、先ツ唯今申シタ所デ荒増御承知アラシコヲ希望致シマス

○小西甚之助君(二百七十五番) 夫デハ追加豫算モ又臆測ヲ以テ御組立ニナルコトデ、止ムヲ得ヌコト、云ラノデアリマスガ

○政府委員(尾崎三良君) マダ追加豫算ノ調ハ充分ニ出來テ居リマセヌケレトモ、何レ此開期中ニ出サニヤナリマセヌ、併ナガラ精密ノ調ハ出來マセヌカラ、必ス臆測ヲ以テ所謂豫算デゴイマスカラ、見込ヲ立テ、出スコト、考ヘマス

○堀越寛介君(二百八十九番) 斯ル案ハ素ヨリ委員ニ付スルマデモナク、無論全會可決ト思ヒマスガ、併シ政府案ハ委員ニ附スルノガ當リ前デアリマスカラ、委員ニ付スルコトニシテ、其委員ハ各部デ一名ツ、選ムト云フコトニシタイト云フ考デアリマス

(贊成々々ト呼ブ者アリ)

○議長(中島信行君) 本案ノ委員ハ各部ニ於テ一名ツ、選ブト云フコトニシマスガ

(異議ナシ異議ナシト呼ブ者アリ)

○議長(中島信行君) 異議ナクバサウ致シマス

○議長(中島信行君) 本案モ朗讀ヲ省略シマス

第五 農會法案(政府提出) 第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經ザルモ參考ノタメニ記載ス)

農會法案

第一條 農會ヲ設立セントスルトキハ此法律ニ依リ會員ノ資格ヲ有シ第五條ニ牴觸セサル者各町村ヨリ二名以上發起人トナリ農商務大臣宛ニテ設立認可申請書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

地方長官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ郡會ノ意見ヲ徵シ尙ホ自己ノ意見ヲ添ヘ農商務大臣ニ進達スヘシ

第二條 農會ノ事務左ノ如シ

一 農事ニ關スル講談會、共進會、品評會ノ開設

二 種苗、種畜、蠶種、肥料、農具等ノ分配若クハ其買入交換ノ媒介

三 農事ニ關スル試驗

四 農事ニ關スル通信、報告、統計

五 農事ニ關スル官廳ノ諮問ニ應スルコト

第三條 農會ハ一郡役所ノ管轄區域ヲ以テ設立地ノ區域トシ其區域内ニ於テ地價四百圓以上ノ田畑ヲ所有スル者ヲ會員トス

第四條 農會ハ其事務ヲ行フ爲メニ委員ヲ置ク

委員ハ會員中ヨリ之ヲ選舉ス其定數ハ十名以上二十名以下トシ農會ノ定款ニ於テ之ヲ定ム可シ

第五條 左ニ掲クル會員ハ委員ノ選舉權及被選舉權ヲ有セス

一 婦女及年齡二十五歲未滿ノ者

二 瘋癲白痴ノ者

三 重禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ滿期後又ハ赦免後滿二年ヲ經サル者

四 公權ヲ剝奪セラレタル者又ハ停止中ノ者

第六條 委員ハ無給トス其任期ハ四箇年トシ毎二年其半數ヲ改選ス初回ノ

解任者ハ抽籤ヲ以テ定ムヘシ

第七條 委員ノ選舉ハ郡長ニ於テ選舉委員ヲ命シ日時及場所ヲ定メテ施行

セシム其費用ハ農會ノ負擔トス

第八條 農會ハ委員ノ決議ヲ以テ其委員定數ノ三分一ヨリ多カラサル特別

委員ヲ置クコトヲ得

特別委員ハ會員タルト否トヲ問ハス農事ニ關スル經驗又ハ學識アル者タ

ルヘシ

第九條 農會ノ經費ハ會員ノ負擔トス其賦課及徵收ノ方法ハ委員ノ決議ヲ

以テ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ賦課金ヲ納期ニ納メサル者アルトキハ其地ノ收入役ニ囑託シ收入

役ノ督促ヲ受クルモ之ヲ納メサルトキハ國稅意納處分法ニ依リ徵收スル

コトヲ得

第十條 農會經費ノ豫算ハ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

經費ノ決算ハ地方長官ヲ經由シ農商務大臣ニ報告スヘシ

第十一條 農會ハ委員ノ決議ヲ以テ其定款ニ左ノ事項ヲ規定シ地方長官ヲ

經由シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

一 委員選舉ニ關スルコト

二 議事ニ關スルコト

三 會計ニ關スルコト

其他必要ト認ムル事項

第十二條 農會ノ事務ニシテ施行前監督官廳ノ認可ヲ經ヘキモノハ農商務

大臣之ヲ定ム

第十三條 地方長官ハ必要ト認ムルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ其管内

農會ノ聯合會ヲ設置セシムルコトヲ得

聯合會ノ組織及權限ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

聯合會ノ經費ハ各農會ノ負擔トス

第十四條 農商務大臣ハ各農會ニ一箇年三百圓以内ノ補助金ヲ下付スルコ

トヲ得

前項ノ補助金ハ農商務大臣ノ指定シタル用途外ニ使用スルコトヲ得ス

第十五條 此法律ニ依リ設立シタル農會ハ之ヲ法人トス

農會ヲ解散セント欲スルトキハ委員ノ決議ニ郡會ノ意見ヲ添ヘ地方長官

ヲ經由シテ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ場合ニ於テ財產處分ノ方法ハ農商務大臣之ヲ定ム

第十六條 地方長官ハ農會及聯合會ヲ監督シ必要ト認ムルトキハ農商務大

臣ノ認可ヲ經テ其事務ヲ停止シ又ハ委員ノ改選ヲ命スルコトヲ得

第十七條 此法律ハ明治二十六年四月一日ヨリ施行ス

(農商務大臣陸奥宗光君演壇ニ登ル)

○農商務大臣(陸奥宗光君) 諸君、本日第一讀會ヲ開カレマシタ議案即チ

農會法案デゴザイマスガ、其發布ニナリマスル大體ノ趣意ヲ茲ニ説明ヲ致サ

ント欲シマス、斯ル議案ニ就キマシテ長ク申セバ、幾ラデモ長ク言フ所以モ

アリマセウガ、本日ハ段々議事日程ニ載セル議案モアリマスシ、又大體ニ於

テハ單簡ニ申上ゲテ分ルコト、思ヒマスカラ、頗ル單簡ニ御話致シマス、抑モ

農業ノ一國生産力ノ上ニ至大ノ關係ヲ持ッテ居ルト云フコトハ、世界各國皆然

リト云フテ宜シ、殊ニ我國ノ如ク古來農ヲ以テ本トシタル國ニ於テハ、農

業ノ進歩若クハ改良ト云フコトハ、一國生産力ノ上ニ至大ノ影響ヲ及ボスコ

トハ論ヲ俟タズデアアル、而シテ此農會ト稱スルモノハ、我國ノ農業ノ進歩ト

改良トヲ圖ルタメニ、法律上與フベキ獎勵ト保護ヲ與ヘントスル目的ヲ以

テ起草シタルデアリマス、我國ノ農產物ノ一箇年ノ總收額ヲ計算致シマスレ

バ、凡ソ代價ニ積ッテ四億圓程アリマス、若シ將來農事ノ進歩ト改良トニ依

テ一割ノ收穫ヲ増シタコトガアルナラバ、即チ四千萬圓許リノ生産力ヲ増ス

フデアリマス、諸君、維新以來我國諸般ノ事業ハ内外文明ノ風潮ニ依リ頗ル

長足ノ進歩ヲ爲シタルニ相違ゴザイマセウ、而シテ農業モ亦此一般進歩ニ相

フテ、相當ノ進歩ヲ爲シ來タラバ、即チ農業者ノ生活、其他彼等ガ

其外ニ現ル、所甚ダ遲々ナルモノナルガ上ニ、農民ノ地位、生活、其他彼等ガ

古來ノ慣習ニ依リマシテ、彼朴質正直ナル美德ハ具ヘテ居リマスカナレド

モ、彼智識ノ發達ト云フコトニ至リマシテハ、幾分カ他ノ商ナリ工ナリト

云フモノヨリハ遲鈍ナリト云ハナケレバナラヌデアリマス、去ナガラ今日

ノ生存競爭ノ世界ニ在ッテ、此十九世紀文明ノ大風潮ノ中ニ立ッテハ、何

人ト雖モ安座休息スルコトハ出來マセウ、然レバ各自ニ其智識ヲ發達シ、其

生産力ヲ増シ、相當ノ位置ヲ占メナケレバナラヌト云フコトハ、申スマデ

モナイデアリマス、デ農事ノ改良ニ就キマシテハ、其方法手段固ヨリ一

シテ足ラズ、去ナガラ其最モ急務トスル所ノモノハ、農人彼等ガ智識ト經驗

トヲ進歩シテ、彼等ノ利益ヲ増進セシムルガ第一デアリマス、而シテ是等ノ

進歩ヲ爲サシメント欲シマスニハ、農人一個々々ノ智識ト經驗トヲ交換シ若

クハ進歩スル外ニ、更ニ一局部ノ農民ガ一體ヲ智識ト經驗トヲ交換ス

ルコトノ必要ガアリマス、デ農會ハ右申ス所ノ目的ヲ達スル所ノ最好ナル機

關デアリマス、即チ本法律案ノ第二條ニ列記致シタル如ク、農會ノ事務ハ

農事ニ關スル講談會、品評會等又種苗、肥料、農具等ノ改良或ハ交換ノ媒

紹ヲシタル、媒ヲスル場所デアリマス、又農事ノ試驗所ヲ設ケ、又通信

統計ヲ作ッテ、互ニ報告シ及官廳ノ諮問ニ應ズル、此等ノ事務ハ實ニ空理空

說ヲ討論スル所ノ場所ニアラズシテ、彼等ヲシテ皆事務ニ就キ實際ノ經驗ヲ

得セシメントスル所ノ趣向デアラズシテ、是等ノ事業ヲ振ッテ參リマスルノニ

ハ、所謂百聞一見ニ若カズト云フ趣意ニ則ッテ、彼等ヲシテ目前ノ利益アル

所ヲ鑑ミ、夫ニ就イテ銘々ノ進歩ヲ圖ラスコトガ第一デゴザイマス、即チ此

列記シタル所ノ事務ヲ一々ニ敷衍シテ説明致シマスレバ、殆ド枚舉ニ遑アラヌ

丈ノ數ガアリマセウと思ヒマス、去ナガラ今特ニ此種交換ノ一事ヲ以テ諸

君ノ清聽ヲ煩サデアリマセウ、此種ナリ又爾ナリヲ交換シテ良キ物ヲ擇ンデ、

甲乙ノ兩地ニ移シマスル效能ハ農商務省ニ於テ數年經驗ガアリマス、餘程其

好結果ヲ得ルモノデアリマス、殊ニ最モ近ク最モ大ナル一例ガアリマスル、

是ハ本年十一月ノ中旬頃デアリマシタガ、官報ニ出シテ置キマシタガ、農商務省デ數年來日本内地ノ良種苗ヲ種々交換スルコトヲ努メマシタノミナラス、世界ノ良種苗ヲ求メテ、我國デ交換ヲサセマシタノデアリマス、其中

○大麥ヲ各國ヨリ取寄セテ、西ヶ原ノ農業試驗場ニ於テ試驗致シマシタ
其試驗ノ成績ハ甚ダ宜イ、即チ昨明治二十三年ニ各府縣ヘ凡ソ一万人程配付
致シ、其成績ハ今年現レテ參リマシテ、各府縣ヨリ報告致シテ來タノハ、殆
ド二千七百何人ト云フモノデアリマス、此配付シタル所ノ現在ノ種ハ一ハ米
國產ニシテゐるでんめろんト云フ、一ハ英國產ニシテバーフト云フ、シテ此
ゐるでんめろんノ方ヲ在來ノ我國ノ大麥ト比較ヲ致シマス、殆ド一割七分
程ノ増額ガアリマス、又バーフト方ハ殆ド三割程ノ増額ガアリマス、在來我
國ノ大麥ノ總收額ハ七百万石ト見マスレハ、是ニ一割七分ヲ増シマスレバ即
チ其增高ガ殆ド百二十五万石許又三割餘ヲ増スモノト見レバ、三百万石以上
増ス、之ヲ代價ニ積ムテ見レバ、凡ソデハ三百万圓程ノ增收獲ヲ得、田デハ
六百五十万圓程ノ増額ヲ得マス、此精シイ算用ハ今申シタ官報ニ掲ゲテアリ
マスカラ、能ク御覽下サル様ニ願ヒマス、即チ此一例ハ各府縣ノ試驗ニ依リ
其成績ノ著大ナルコトヲ申シテ來タノデアリマス、夫故ニ本大臣ハ此事ハ疑
ハナイ、即チ今日日本ニ在ル處ノ犬ヲ御覽ナサイ、一匹ト雖モ在來日本種ノ
犬ハ無イ位デアリマス、皆西洋種ノ犬デアアル、或ハ是カラ數年ヲ出デズシテ
日本ノ麥ト云フモノモ彼米產ノゐるでんめろんニナルカ或ハ英產ノバーフトニ
ナルカ、然ラズンバゐるでんめろんトバーフト混淆シタモノニナルト云フコ
トハ疑ヒマセヌ、如何トナレバ人間利ノアル所ニ是レ從フ、是ハ即チ種苗
交換ノ一般ヲ申シタノデアリマス、去ナガラ其他ニモ例ヘバ苗ヲ撰ムコト、
カ、或ハ俵ヲ改良スルコト、カ、斯ウ數ヘテ見レバ、種々ナコトガアリマス
ガ、是ハ暫ク省イテ申シマセヌ、而シテ此等ノ儀ニ就イテハ、從來各府縣ノ
個々人民ヘ農商務省デ與ヘテ居リマシタ、其成績甚ダ少イノデアリマス、
故ニ若シ本案ニ云フ所ノ農會ガ立チマシタラ、農商務省ヨリ直チニ農會ニ移
シ、農會ニ於テハ其區域内ニ於テ之ヲ試驗シ、其成績ガアルナラバ、區域人民
ガ之ヲ採用スルコト云フコトニ致シマスレバ、其成績モ甚ダ大ニシテ又……ノ
便ヲ得ルコト、思ヒマス、斯他斯ノ如キ例ヲ舉ゲマスレバ、餘程多ウゴザリ
マスガ、初カラ申ス通、頗ル簡單ニ申スト云ツテ置キマシタデ、本案ガ第二
讀會ニ移ルコトニナリマスレバ、各條ニ就イテノ夫々ノ説明ニ就イテハ喜ビ
テ之ニ應ジマス

○藤野政高君(百十五番) 本員ハ本案ニ就イテモ委員ヲ各部ニ於テ選ブト云
フコトヲ希望シマス

〔贊成々々ト呼ブ者多シ〕

○議長(中島信行君) 本案モ同様各辭ニ於テ九名ノ委員ヲ選舉シマス

○東尾平太郎君(百五十四番) 緊急ノ動議ガアリマス

○東尾平太郎君(百五十四番) 私ガ緊急ノ動議ト申シマスノハ、外ノ事デハアリマセスガ、此次ノ議案ヲ見マスト思ヒマス、明日ヨリ豫算案ヲ議スルニスガ、是ハ差急ガ問題デモアルマイト思ヒマス、明日ヨリ豫算案ヲ議スルニスルマシテハ、此田畑地價特別修正ナリ、地租條例改正案ナリ、此問題ナル

モノハ餘程豫算案ニ關係シテ居リマスカラ、議事日程ヲ變更シマシテ、此第十四項ノ田畑地價特別修正法案ヲ此次ニ議セラレンコトヲ緊急動議トシテ發議致シマス、願クハ同意ノ諸君ハ速ニ贊成セラレンコトヲ希望致シマス

「賛成々々ト呼ブ者多シ」

〔農商務大臣陸奥宗光君演壇ニ登ル〕

○農商務大臣(陸奥宗光君) 諸君、先頃衆議院議員高梨哲四郎君ヨリ質問ガ

コザリマシタ、右質問ニ對シテハ格別長キ答辯ヲ必要トシマセヌト存ジマス、一言

ニ言ヘバ總テ本大臣ハ條例ニ依ツテ右等ノ質問ニ對スル事ヲ處

一寸夫ヲ讀ンデ見マセウ、其第一ノ質問ハ明治二十四年六月農商務

米商會社ノ營業ヲ停止シタル紛擾ノ事實顧未如何」ト云フコトデゴ

之ニ答ヘルニハ、米商會社ノ營業ニ必要事實ヲ認メマシタノデアリマス、因テ日

リマス、第二ノ問ハ「其營業停止ヲ解除シタル手續

タ、所ガ、果シテ補充シタ故ニ此營業停止ヲ解イタノデアリニ

「其營業停止及其解除顛末ノ利害如何」是ハ條例ニ依ツテ停止セネバナラヌ時

コトハ、是ハ實ニ容易ナラヌ所ノ事實デアル、又農商務大臣ガ極簡單ニ法律通ヤリマス云フ位ノコトデ終リスベキ事柄デナイト考ヘル、詰リ唯今農商務大臣ガ讀上セラレタ通ニ、條例ノ夫ノ手續ニ依ッテ監督處理セラレテ居レバ、アノ如キ騷擾……騷擾ト云フテハ或ハ語弊ガアレバ、事實ハ世ノ中ニ起ラナイ、而シテ商業社會ノ信用ヲ害サナイ、併ナガラ茲ニ一ツ甚ダ本件ノ微細ナル事實ノ説明ヲ請ハントスルニ當ッテ、前途ニ障害ヲナスモノハ隨分長イ話デアリマスガ、六月以來アレ程ノ事變デアルニモ拘ラズ、今農商務大臣ガ答辯サレタ通ニ、アノ件ト云フモノハ豫審中デアル、而シテ細密ノ事實ノ説明ヲ請ハントスレバ、勢豫審ノ事實即チ法律上ニ秘密トシテアル豫審事實ニ或ハ抵觸ヲ來シハセヌカト云フ恐モアル、我々ハ勿論本院ニ於テ立法權ノ尊重スベク尊嚴ナルヲ信ズルト俱ニ、又司法權ノ獨立モ之ト俱ニ尊嚴シ、之ヲ維持スルコト云フコトヲモ力メナケレバナナイト考ヘル、然ルニ前ノ如ク彼事件ハ隨分商業社會ノ恐慌ヲ來シ、信用ヲ害シ、遂ニ我々ヲシテ其由來スル所歸著スル所ヲ知ラント、否、我々所デハナイ、世間一般ニ求メタニモ拘ラズ、隨分分リサウナ話ガ六月カラ今日マデ長引イテ居ル譯デアル、夫故ニ尙ホ進ンデ農商務大臣ノ説明ヲ要スル所ノモノハ、即チ前質問書ニ或ハ補助金ノ缺乏トカ或ハ補充ト云ヒ或ハ監督ノ處置ニ至ッテモ、農商務大臣ハ規則通ニヤラル、規則通ニヤラルレバ、決シテツンナ事ハ起ラヌト思フ、又農商務大臣ノ銳敏ナル嚴格ナル議院ノ御手際デ御ヤリニ成リマシタナラバ、隨分米商會社ト云フモノニ、アノ位ノ騷擾ヲ來ス様ナ憂モナカラウ様ニ本員ハ信スル、アノ米商會社條例ニ記載スル通、全國米商仲買人ノ集合シテ、其高低ノ相場ヲ立ツル所デ一人若クハ數人ノ商人商工ヲ肥ス所デハナイ、之ヲ大ニシテハ國ノ本タル米ノ相場ヲ明ニシテ、此四千萬同胞ノ趣ク所ヲ知ラシムル位ノ必要ガアル、必要ガアレバコソ農商務省ガ監督セラル、譯デアル考ヘル、勿論私ハ今日ノ場合ニ缺乏、補充、監督ノ如キ一瑣末ナル微事ニ立入ッテ、是ガ説明ヲ求メントスレバ、則チ現今米商會社ノ豫審中ノ事件ニ且リ、或ハ法律ニ抵觸ヲ來ス憂ガアルカラ、若シ農商務大臣ニ於テ是等ノ點ヲ避ケテ、即チ補充缺乏、監督ト云フ規則通ニヤリマス云フナラバ、御返辭ハ夫デ濟ム話デアル、夫デアルカラ、詰リ司法權ニ抵觸セザル限ハ……本院ニ於テ差支ナイ部分ガアラバ、重テ缺乏、補充、監督ノ三ツニ就イテノ説明ヲ請ヒタイ、若シ其事柄ガ總テ豫審中デ、今日本院ニ於テ暴白スルコトヲ得ザルモノナラバ本員ハ已ム得ズ即チ彼裁判事件ノ落著ヲ待ッテ、再ビ農商務大臣ノ説明ヲ煩ハサウト思フ、是ガ即チ希望デアル

(農商務大臣陸奥宗光君演壇ニ登ル)

○農商務大臣(陸奥宗光君) 唯今高梨君ヨリ再ビ質問ガアリマシタガ、有名ナル御辯說ニ依ッテ大層意味ハ能ク分ツタガ、御答ノ出來マセヌ事ガ中ニ大分アリマス、何トナレバ例ヘバ豫審判事ガ大層日間取ッテ居ルコトハ、私ガチットモ知ラヌ話デス、夫カラ其中規則通ヤラルレバ云々ト云フ事ガゴザイマシタガ、本大臣ハ無論規則通ニ遵奉シテ居ルノデアリマス、若シ他人ガ本大臣ガ規則ニ背イタト云フコトヲ言フナレバ、ドウ云フ所ガ背イタト云フ事ガナケレバナナイ、夫デ規則通ニシテ居タノデアアル、而シテ此豫審中ノ事ニ就イテ、或ハ濟ンダラバ云々ト云フ事ガアリマシタガ、是ハ至極御尤ノ御考デアリマス、或ハ裁判終結ノ後ニ、果シテ農商務省ニ於テ其當ヲ失シタ

事ガアマリマシタナラバ、充分ニ御質問ヲ受ケテ宜シト思ヒマス

○議長(中島信行君) 決ヲ採リマス、東尾君ノ提出ノ議事日程ヲ變更シテ、田畑地價特別修正法案ヲ、議スルト云フ

○櫻井武夫君(八十八番) 決ヲ採ル前ニ、一應申シマス

○議長(中島信行君) イヤモウ決ヲ採リマス、右動議ニ贊成ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(中島信行君) 多數 議長ガ多數ト認ムレバ、故障ヲ申立テマス

○前田案山子君(七十九番) 今ノハ多數ト御認ニナリマシタカ、多數ト御認ニナレバ異議ヲ申立テマス

(贊成々々ノ聲起ル)

○早川龍介君(二百八十七番) 贊成ト云フ事ガ分リマセヌガ、何デス

○議長(中島信行君) 分ッテ居リマスハ——氏名點呼ヲ致シマス

○栗谷品三君(百五十二番) 本員ハ放棄シマス

○議長(中島信行君) 氏名點呼ノ結果ヲ報道致シマス

總計 一百五十三

可トスル者 百三十三

否トスル者 百十九

可否ノ數ニ加ハラザル者 一

○議長(中島信行君) 暫時休憩致シマス

午後三時四十六分休憩

午後四時十一分開議

第七 田畑地價特別修正法案(天春文衛君外二名提出) 第一讀會ノ續

○山口千代作君(百七十七番) 少シク御開キニナル前ニ發言ヲシタイガ、宜シクゴザリマス

○議長(中島信行君) 前會ヲ續ケマス

○山口千代作君(百七十七番) 唯今御開ノ田畑地價特別修正ニ關係シテ緊急動議ヲ出ス積デス

○議長(中島信行君) 委員長ノ報告ガアツテカラ……

(長谷場純孝君演壇ニ登ル)

○長谷場純孝君(二百九十一番) 此法案ニ對スル委員會ノ經過ヲ報告致シマス、去ル十二月午後六時ニ委員長及理事ノ選舉ヲ致シマシテ、十四日ノ午前十時ヨリ會ヲ開イテ、午後六時マデニ審議ヲ盡シマシタ、其結果ハ既ニ諸君ノ御手許ニ配付ニナッテ居ル所ノ報告書ノ通デゴザリマス、夫デ彼報告書ニハ理由ヲ附シテゴザリマスケレドモ、書面上デハ其概要ヲ記シタ許リデゴザリマスカラ、一應更ニ口頭ヲ以テ辯シ置キマス、第一條ニ此「一億五千萬圓以上二億萬圓以內トス」斯ウ委員會デ修正致シマシタルハ、丁度理由書ノ通デ、別ニ辯明ヲ要スルコトハナイト考ヘマス、夫カラ第六條ノ此「地價修正審議會ノ組織云々」ノ所ニ斯ウ致シマシタルハ理由書ニモゴザリマス通り、之ヲ此通デ致シマスルト、或ハ此施行期限ヲ誤ランコトヲ恐ル、憂ガアル、

其故ハ好シ此法案ガ貴衆兩院ヲ通過シテ、サウシテ政府ニ傳送シテモ、上奏ヲ經、裁可ヲ經テ、發令ニナルマデハ此間ドナタカノ發論ノ通ニ、議院デ議決シタモノヲ政府ニ傳送シテ裁可スルモノハ、三十日以内、裁可サレナイモノハ二十日以内ト極リカ付イテ居レバ宜シウゴザリマスケレドモ、アノ事ハ未ダ決シテ居リマセヌカラ、夫デ万一二モ今期ノ開會中ニ法令ヲ發布サレナイ様ナコトガアルト、遂ニハ臨時會ヲ開イテ選舉シナケレバナラヌト云フ様ナ場合ニ際會スルカモ知レナイ、夫デ最モ是ハ、此組織ハ勅令ヲ以テ定メラレ、別ニ差支ナイモノト委員會ニ於テハ信シテ、斯ノ如ク修正シマシタ、夫カラ第八、九、十第十一、十二、十三條ヲ削除シマシタコトハ理由書ニアル通、別ニ説明スルニ及バナイト考ヘマス、夫カラ第十七條ノ委員云々ヲ削除シマシタ、之モ説明スルノ必要ハナイ、委員會ノ報告ハ是マデモゴザリマスガ、本員ハ是ヨリ議員一己ノ資格ヲ以テ本案ニ贊成スルノ意ヲ一言表シ置カウト考ヘマス

○議長(中島信行君) 長谷場君ニ申シマス、其方ハ通告ノ順序ニ依ル

○三浦信六君(九十二番) 通告ノ順序ハ長谷場君デスカ

○山口千代作君(百七十七番) 此特別地價修正ノ方案ト地租條例改正案ト云フ者ハ恰モ表面コソ代ッテ居ルケレドモ、其實ハ職絡シテ居ルモノデアッテ此中ニモ雙方ニ贊成シテ居ル者モアル、又絕對的ニ反對シタ方モアル、夫デ之ヲ即チ唯今日程ヲ變更シテ遣ラレマシテモ、恐ラクハ餘程之ニハ差支ガ生シヤウト思フ、私杯ノ考ハ斯ノ如キ不完全ナ地價ヲ修正スルガタメニ、收穫ヲ低減スルナンド云フ様ナ減法ヲ議案ハ決シテ通ルモノト思ハヌ、私ハ之ニハ絕對的ニ反對スルケレドモ、此項ノ議論見ルト、雙方ニ同意スル者ガアル、然ルニ此日程ノミヲ變更シテ、後トノ者ハイツスルト云フ日程モ分ラヌト云フハ、甚ダ分ラヌト思ヒマス、依テ緊急動議ヲ提出致シマシテ、是ハ此案ガ否決或ハ可決ニ拘ラズ、此次ノ議事日程ニ地租修正條例改正案ノ日程ヲ繰上ゲルコトノ緊急動議ヲ提出致シマス

○東尾平太郎君(百五十四番) 夫ハ之ガ濟ンデカラ遣ルガ宜シイ、未ダ夫ハ委員長ノ報告モナケレバ、委員ノ報告モナイ

(高梨哲四郎君演壇ニ登ル)

○高梨哲四郎君(百二十五番) 本員ハ反對デアル、先ヅ第一ニ此本案ノ不完全ナルヨリ反對スル、第二ニハ立法ノ趣意ヨリ致シマシテ、法律制度ニ違反スルト云フ點ヨリ反對スル、第三ニハ民力ノ度合、殊ニ彼ノ尾濃地方ノ如キ、實ニ慘狀ヲ極メマシタ所ノ實況ヲ目撃シツ、我々ガ尙ホ斯ノ如キコトヲ爲スノ甚ダ輕率ナルヨリ反對致シマス、唯今委員ヨリ報道モゴザリマシテ、原案ハ餘程削減セラレタ所モゴザリマスケレドモ、委員ノ報道ニ依ッテ見マスルト云フト、九デ原案ノ主意ハ失ッテ仕舞ッテ居ルト申スハ、即チ此原案ノ主意ト云フモノハ、其第六條ニ於テ地價修正審査會ト云フモノヲ設ケテ、大藏大臣外政府委員及貴族衆議兩院ノ委員數名——是ハ即チ公平直實ナルモノト法律上認メテ、之ニ地價修正ノ大事業ヲ委任スル原案ノ組織デアル、然ルニ此點ニ附イテ委員ハ削リマシテ、即チ勅令ヲ以テ定メルト云フコトニシタ、此大權ヲ僅ニ二三ノ行政部ノ部長若クハ行政部ノ役人ニ任セルト云フノガ、委員ノ報告ノ主意デゴザリマス、此位違ッタ話ハナイ、既ニ此一例

ヲ以テ、或ハ家ニモ歸ラズ、夜モ寢ナイデ、左程諸君ガ修正ニ熱心盡力セラレタ案ニシテ、委員ノ手ニ掛リ、殊ニ三日四日大主眼タル行政部及立法兩議院ノ委員ニ任シテ、此大事業ノ修正ヲスルト云フ點ニ至ッテハ、大ニ減セラレテ、其主意ヲ失フト云フハ、抑、不完全ナル案タルノ故デハゴザリマスマイカ、併ナガラ私ハ左様ナ瑣末ナル點ニ於テ反對スル者デナイ、熟、此案ノ不完全ナル點ヨリ御覽ナスツタラ、ドウデゴザリマセウ、先ヅ第一ニ地價ノ總額ヲ極メラレテ、原案ニ於テハ二億萬圓ナノガ、報告ニハ一億五千萬圓以上二億萬圓以下トアル、我々ガ此立憲代議政體ノ下ニ立ッテ、苟モ正議公道ヲ取ツテ進ムト云フノニ、其事物其レ自身ヲ定メナイデ、幾ラ丈、ヤラウヂヤナイカト云フ、此位曖昧ナ、此位模稜ナ、此位情實の政治ガ世ノ中ニアリマセウカ、苟モ惡イモノナレバ法律ヲ以テ廢スベシ、善イモノナラバ法律ヲ以テ獎勵スルモ亦可ナリ、併ナガラ先ヅ以テ政治ヲシヤウト云フニ、幾ラ丈ヤラウヂヤナイカト云フノハ、少シ十二月ノ晦日ガ近クナッテ來タカラト云フ節季ノ賣物ニ近イノデアル、斯ノ如キ不完全ノ案ヲ以テカラニ、日本國民ヲ代表スル所ノ此衆議院ヲ節季ノ賣物トナラシムルニ於テハ、此案ヲ不完全ナリト言ハザルヲ得ナイノデアル、又其六條ニ於テ原案ニハ、立法兩議院及政府委員——夫カラシテ報告案ニハ、敕令ヲ以テ定メルト云フコトニシタ、私ハ強テ議院法ヲ議院規則ニ依ッテ人ヲ困ラセルト云フノデハナイガ、併ナガラ苟モ今日ニ於テカラニ、立憲代議政體ノ下ニ立ッテ我々ノ主張スル點ハ何レノ點デアルカ、世上ニハ如何ナル議論ガアラウガ、立法權ヲ以テ立チ、立法權ヲ以テ倒ルカ、モノデアル、彼ノ行政權若クハ司法權ノ下ニ、此立法權ヲ隸屬セシムルガ如キハ我々ノ取ラザル所デアル、彼ノ行政官ノ様ニ情實ニ流レテ、弊害百出スル所ハ極テ本員等ノ反對セントスル所デコザリマス、然ラバ我々立憲議院タル者ハ能ク其立法權ノ最上權タルコトヲ鑑ミテ、人ニ後指ヲ指サレヌ丈位ハ——殊ニ此修正事業ハ此位ノ用心ヲシナケレバ、決シテ笑ヲ百歲ニ遺スコトヲ除クコトハ出來マス——面白キ案カナ、立法議院ヲシテカラ委員タラシメ、殊ニ行政ノ役人ト共ニ——我々カ立憲政體ノ下ニ在ッテ、三百ノ代議士ハ今少シ選舉權ヲ擴張スベシ、代議士モ殖スベシ、北海道ニ參政ノ權ヲ許スベシト主張スル所以ノモノハ何デゴザリマス、又我々三百人ハ四千萬人同胞ヲ代表スルコトハ甚ダ難イコトヲ憶ムノデゴザリマス、然ルニ漸クニシテ是等ノ人ヲ我々ノ方カラ總代ヲ選ンデ、此大事業ヲ大成シヤウト云フノハ、憲法法律ニ違背スル嫌ハナキカ、我々ハ四千萬ノ代表ニ選マレテ、當然ナル選舉法ノ下ニ立ッテ、當院ニ列シテ國政ニ參與スルノ權ヲ得テ居リマスガ、擬國ノ參與權ハ他人ニ讓ッテ、我々ノ中カラ總代ヲ出ス、ソナナ事ガ憲法上出來マス——出來ルト云フ人ガアレバ、抑、外國ノ典例ニ於テ何レノ場合ニ左様ナル事ガアリマスカ、又何レノ條項ニ於テ、我々聖文武ナル天皇陛下ノ發布セラレタル憲法ノ何レニアルカ、或ル人ハ此案ヲ維持スルガタメニ有志會ト言ヒマスガ、我々ハ公事デモスルカ、市會ノ決議ナレバ兎モ角モ、苟モ憲法上國家ノ參政權ヲ以テ立ッテ居ル所ノ代議士ガ、其權利ヲ他人ニ讓ッテ御前サン願ヒマス——左様ナ事ハ決シテ私ハ憲法上未ダ規定シテアルコトヲ見マセヌ、而シテ流石ニ報告案ニハ其缺點ハ削ラレテ、勅令ヲ以テ定メルト云フコトニ修正セラレタ、一體行政官ハ情實ガアルト云ヒナガラ、修正ニ御熱心ノ方ハ家ニモ歸ラズ、夜モ寢ズト

アル、殊ニ之ガタメニ殆ド憲法ノ上ニマデモ異論ヲ挾マントスルノ時デア
ル、然ルニ何ゾヤ地價修正ノコト、云へバ、尾濃ノ代議士之ニ贊成シテ大ニ
遣リ遂ゲヤウト、ドウモ斯ウナッテ見ルト云フト、是非修正ト云フコトハ遣
ラナケレバナライ、之ヲ遣ルハ則チ自己ノ名譽デアアル、併シ被害ヲ受ケ
タ所ノ人民ガ、コンナコトガ出来マスカ、實ニ柱ハ倒レ、家ハ崩レ、夫婦妻
子離散シテカラニ、實ニ今日ノタツキニモ困ル人民ガ、今日ニ於テ斯ル不完
全ノ方法ヲ以テ地價修正ヲシナケレバナラヌト云フノハ、抑モ其時宜シキヲ
得テ居ルノデアアルカナイカ、尾濃ノ代議士若シ廉耻アツテ、彼慘況ヲ演ブ
ルノ勇アラバ、共ニ修正丈ハ遣ッテモ……夫ハ餘リ御手前勝手ノ話デハナイ
カ、是ニ於テカ人民ノ代議士タル者ガ榮譽ヲ郷黨ニ賣ランガタメデアルト云
フコトヲ、私ハ斷言スルニ猶豫シナイノデアリマス

斯ク考ヘテ見マスルト、地價修正ナルモノハ、或ハ今ノ地價ヲ修正シ、尙ホ以
テ不公平ヲ増サシメテカラニ、尙ホ人民ヲシテ費用ヲ増サシメルモノデア
ル、人民ヲシテ益ヲ瀕死ノ場合ニ蒞マシムルモノデアルト云フコトヲ疑ハナイ(誤
解々々ト呼ブ者アリ)此修正ノタメニ公平ヲ得ル扨トハ、本員斷言シテ、其
能ハザルヲ明言スル所ノモノデゴザイマス

(角利助君演壇ニ登ル)

○角利助君(百五十六番) 私ハ本案ノ贊成者デアリマス、唯今高梨君ノ演説
ガアリマシタガ、畢竟スルニ其言論ト申スモノハ、本問題ノ瑕疵タル……地
租ノ不公平デアルカ否カ、將タ此儘ニ改正ヲ爲サズニ持續スルカ否カト云フ
モノヘハ論及サレズシテ、唯一ノ方法、即チ此所ニ提出サレマシタ所ノ方法
事實ノ非難ニ過ギヌコト、考ヘマス、若シ夫レ此論者ニシテ眞ニ此問題ガ現
在今日ノ我日本ノ多數ノ人民ニ如何ニ不平ナル租稅ヲ課シツ、アルカ、不
平ナル租稅ニ依リテ人民ガ如何ナル困難ヲ受ケツ、アルカト云フコトヲ明ニ
シタナラバ、其方法即チ枝葉ノ點ニ若シ非難ガアルナラバ、二議會ニ於テ修
正スレバ可ナリ、唯々太論ニ最モ必要ナル今日ノ施政ノ方法ノ如何ト云フコ
トニ論及サレナシタノハ、私ガ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、故ニ私ハ今日
殊ニ斯ノ如キ議論ニ論鋒ヲ向ケルコトヲ潔シシマセヌ、デ元來本案ノ問題
ニ對シマシテ連ブル所ノ條項ハ多々アリマスガ、併シ本問題ハ昨年來引續キ
マシテノ議論デアリマスカラ、諸君ノ中ニモ追々ト先日來御述ニナリマシテ、
例ヘバ現在ノ地租法ガ如何ニ賦課シツ、アルカ、又其次ニ租稅ハ如何ニ公平
ヲ貴ブベキモノデアアルカト云フコトノ如キコトハ、省イテ申シマセヌ、唯此
處ニ一條論辯致シタウ思ヒマスノハ、昨年本場ニ於キマシテモ少シク議論ガ
アツタ様ニ考ヘマスガ、絶對的ニ此地價修正ヲ否トスル所ノ議論デアアル、夫
ハ何カト申シマスレバ、詰リ租稅ノ高キ所ハ賣買ノ價ガ安クナル、租稅ノ安
キ所ハ賣買ノ價カ高クナル、乃チ利益ノ平均カラシテ、今日ハ公平ト云フモ
ノガ、自然ノ有様ニ正シキニ歸シテ居ルト云フ所ノ議論デアリマス、之ヲ解
クタメニ私ハ一言述べタイト思ヒマスノハ、實ニ當會ニ於キマシテハ、斯ノ如
キ議論ハ耳ニ致シマセヌガ、仄ニ聞ク、政府内閣ノ中ニ於テ矢張斯ル議論ヲ
持ッテ居ル者ガアルト云フコトヲ聞キマシタ、焉ゾ知ラン斯ノ如キ議論ガ又
貴族院中ニモ幾分カナイト云フコトハ計ラレマセヌ故、殊更ニ私ハ此事ニ附
イテ一言致シタウ思ヒマス、其議論ハ彼經濟ノ道理ニ從ヒマシテ、利益ハ平
準ニ歸ス、即チ今日ノ地租ニハ如何ニモ不公平ガアルケレドモ、其修正アル

(一五)

所ハ地價ガ安クナリテ居ル、之ニ反シテ安イ所ハ高クナルト云フ所ノ議論、一應尤ニ聞エマスガ、此經濟ノ理論ト申スモノヲ以テマシテ、直ニ我國ノ地所ニ當テ注シテハ、餘程其適用ヲ誤ラズモノナル、何故ナラバ利ノ多キ所ノ資本ヲ注入シテ、其利ヲ減ズルト云フハ、是ハ經濟書ヲ少シク御覽ニナツタ方ハ御存ジノ事デ、私ノ申スマデモナキコトナル、併ナガラ此議論ハ眞ニ實際ニ妨ナキコト、思ハル、ハ勿論ノコトデ、事實地所杯ハ賣買ガ果シテ書物ニ見ル所ノ道理ノ如ク、其利益ヲ注入スル所ノ利益ガ價ヲ甚ダ當ラズコトデアル、何トナレバ若シ地所ヨリ生ズル所ノ利益ガ價ヲ自由自在ニ便利ナモノデナレバハ恰モ一個人ノ持ッテ居ル商賣物ノ如ク、ルモノデハアリマセヌ、然ラバ決シテ經濟ノ道理ニ於キマシテ、利益ノ平均ヲ得ルコト云フコトハ事實ニナラヌ議論ナル、然ルニ論者ハ經濟上ノ空理ニ依ッテ、地價ノ不公平ヲ知ラズシテ、地租ノ公平ヲ得タモノト見テ居ルハ、甚シキ誤謬デアリマス、好シ又此論者ニ一步ヲ譲リマシテ、眞ニ價ノ高低ニ依ラズシテ、今日ノ地租ノ取立方ガ平均ヲ得タモノト定メテモ、獨リ利益ノミヲ以テ高低ヲ斷案スルハ、最モ誤ノ大ナルモノデアル、其譯ハ若シ此地所ガ或ル公債證書ノ如ク、又或ル物品ノ如ク、其之ヲ用フルニ當ッテ制限ノナキ如ク、幾枚カノ公債證書ヲ持ッテ居テ、夫ガ五株デアレバ、百萬圓持ッ者ガ、二株五厘ノ公債證書ナレバ、二百萬圓持ッタルト云フ方針デア、併ナガラ今日ノ地所ハ獨リ利益ノ平均ヲ取ルノミデナク、其勞力ト生産トノ計算ヲ取ラネバナラヌ、今日一町カラ上ガ爾收穫ノ租稅ハ何程少クテモ、一人デ二町歩ノ耕作ハ爲シ得ベカラザルモノデアル、即チ其利益少クテ推シ及ス物ト出来ナイモノデアル然ラバ今日其利益ガ少ナレバ多ク出来ルコト云フ物品ノ如キ有様ニハ到底地所ハ出来ヌモノデアル、果シテ然ルトキニハ今日此多額ノ租稅ヲ拂フ所ノ地所ハ、從前ノ如ク稅ヲ取レバ、其賣買ガ安クナルカラ、平均ヲ得ルコト云フハ、甚ダ都合千萬デアル、論者ガ平均ヲ得ルコト云フ論據ハ稅ガ高クナツテモ、地所ガ安クナルカラ平均ヲ得ルコト云フ議論デア、然ラバ取リモ直サズ、其地所ヲ持ッテ居ル所ノ人ハ租稅ノ高キモノハ地價ト云フモノガ低クナツテ、租稅ノ安キ地所ハ高クナルト云フノガ、彼ノ論者ノ述ブル利益ノ平均デアリマス、斯ル有様ニナリマシタナラバ、今日高稅ヲ出ス所ノ人民ハ如何デゴザイマセウ、既ニ今日ノ有様ガ安クナレバ平均ヲ得ルコト申シマスケレドモ、私ハ未ダ其平均ヲ得ヌコト、考ヘマヌハ、今日ノ有様ヨリ尙ホ一層地所ノ價ガ、稅ノ高キガタメニ下ツタラ、今ノ地租條例ノ不可ナルコトハ、人民ニ對シテ財力ヲ奪フ方法デア、實ニ今此地租分配ノ不公平ハ諸君ガ御承知ノコトデア、其安キ所ニ居ル人コト安閑トシテ居ルコトガ出来マセウ、併ナガラ重キ人民ガ默ッテ居ルコトガ出来マセウカ、若シ此儘ニ此改正ヲ爲サズシテ、數箇年繼續シタラ、或ル地方カラ多クノ租稅ヲ取ルコト云フコトデ、其租稅ノ有様ハドウカト云ヘ、一部分ヨリハ多クノ租稅ヲ取リ、一部分ヨリハ少クノ租稅ヲ取ルコト云ヘ、其結果ハドウナルカト云フニ、盡ク出ス人民ハ日ニ稍々困窮ニ陥ルコトハ明瞭ノ道理デゴザイマス、私聞キマスルニ、今日如何ナル弊害ガ甚シイカ、後來恐ルベキ弊害ハ何デア、私聞キマス、國民中貧富ノ等差ノ益、大ニナルコトデゴザイマス、夫ハ西洋諸國ニアル共產黨トカ社會黨トカ何黨派ト云フガ出来テ、餘程將來ノタメニ憂フベキ有様ニナルト申シマス、ナゼカト申シマスレバ、是ハ貧富ノ不平等ヨリ出ルコトデアリマス、今我地租法ハ如何デア、

左ナキダニ貧富益、階級ヲ來シ、今日ニ於テ我日本ノ地租法ガ之ニ如何ナル影響ヲ與ヘルカト申シマスレバ、或ル一部分ノ財力ヲ取リ拂フト云フ傾ガアル、然ラバ今日之ヲ修正スルコト云フコトハ、獨リ現在ノ地租ヲ平均スルコト云フノミナラズ、將來ニ於テモ貧富ノ懸隔益々甚シクナルコトヲ矯ムルコトニ、最モ必要ナル手段デア、次ニ尙ホ一言致シタウゴザイマス、今日政府ガ此地價修正問題ニ對シテノ方針デア、既ニ改正ノ初メ貧富ニ厚薄ナク、民ニ逸勞ノ差ナカラシムルコト云フ主意ヨリ出タ地租法、性實ナル、然ルカ故ニ此租稅ノ不公平ヲ認ムルヨリ、二十二年特別地價修正ヲ施行サレテ、地租法ヲ定メ貧富ノ厚薄ナカラシムルコト云フコトニ出テ、政府ガ前年ニ於テ特別地價修正ヲシタ以上ハ、今後益々修正シヤウト云フ、政府ガ租稅ニ對スル大方針ト私ハ固ク信ジテ疑ハナカッタ、然ルニ先日政府委員ハ何ト申シマシタカ、此地價方法ニハ其方法ト時機ヲ得ナイカラ、之ニ同意スルコトハ出来ナイト云ハレタ、實ニ怪訝ニ堪ヘヌ次第デアリマス、然ルカ故ニ或ル議員カラ質問モ出マシタトキ、彼モ一事ナリ是モ一事ナリト云フ様ナ通辭ヲ設ケタコトデア、實ニ此政府ガ國庫ノ大本タル地租ヲ徵收スル目的ニ於キマシテ、彼モ一時デア、是モ一時デア、然ルニ云フ通辭ヲ出スハ、實ニ私ハ怪訝ニ堪ヘヌ、若シ此語ヲシテ或ル一個ノ哲學者ガ此世ニ對スルノ自身ノ方針ト見レバ、實ニ問然スル所ガナイカモ知レマセヌガ、苟モ政府ガ此議會ニ向ッテ、後來租稅ニ對スル方針トシテ、彼モ一時デア、是モ一時デア、彼モ一時デア、一時モ一時ト云フコトハ、取リモ直サズ其目的ガ確乎タラザルコトデア、所謂朝令暮改ト云フコトハ、彼モ一時是モ一時主義カラ出テ來ルコトデア、然ル以上ハ實ニ今日此政府ガ此國民ノ盛衰ニ一モ關係シテ、或ハ或地方ノ困苦窮弊如何ナル禍ノ本ヲ爲サウト云フ地租ノ不公平ニ對シテ、尙ホ之ヲ冷淡ニ付シ、今日尙ホ此議會ガ天下ノ輿論ヲ以テ多數決シテモ、尙ホ之ニ同意シナイト云フコトノ如キハ、甚ダ國家ノタメニ憂フルノミナラズ、政府ノタメニ惜ム所デア、私ハ故ラニ政府ニ向ッテ非難小言ヲ云ハウト云フ念ハアリマセヌ、成ルベクナラバ政府ニ同意ヲ爲サシメ、即チ輿論ノ歸スル所ノ方針ヲ以テ事柄ヲ致サセシメイト云フコトヲ希望スルモノデアリマス、實ニ立憲政治ノ大本タル輿論ニ從ッテ行政ノ事務ヲ扱フト云フコトハ、申スマデモナク議會政治ノ本領デア、然ルニ好シ此議會デ多數決シテモ、尙ホ之ニ從フコトノ出来ナイト云フハ、取リモ直サズ專制政治ノ精神デア、實ニ我々ハ斯ルコトヲ此議會デ今日ノ日ニ聞カウトハ思ハナカッタコトデアリマス、唯私ノ政府ニ希望スルハ、變通主義トカ云フコトヲ執ルトカ云フ話ガアリマスガ、願ハクハ輿論ニ對シテ從ハナイト云フ所ノ主義ヲ須ラク變通セラレマシテ、而シテ國會デ可決シタ所ノ事柄ハ總テ之ニ從ハレシコトヲ希望スル、此地價修正問題ト雖モ亦然リ、本院ニ於テ議決シタ以上ハ速ニ……

○藤野政高君(百十五番) 討論終結ノ動議ヲ提出シマス

○三浦信六君(九十二番) 討論終結ハ大不同意デス、此場合ニ質問ガアリマス

(議長々々ノ聲起ル)

○議長(中島信行君) 餘リ喧シイカラ分ラナイ——何モ分ラナイ

○三浦信六君(九十二番) 一寸一言聽キタイコトガアリマス

○議長(中島信行君) 討論中デア、暫ク御控エナサイ

(未完)